

「若者自立支援のための実態把握調査」 最 終 報 告 書

平成22年 1月29日



「日本一の暮らし先進県」を目指して！

鹿児島県県民生活局
青少年男女共同参画課

目

次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	2
1	本人を対象とした調査	
(1)	基本的な項目	2
(2)	日頃の生活状況・経緯等	5
(3)	これまでの仕事・就職活動等の状況	8
(4)	職業・就職に関する考え方	10
(5)	相談状況	13
(6)	意見・要望等	14
2	保護者等を対象とした調査	
(1)	基本的な項目	16
(2)	本人の生活状況・経緯等	19
(3)	本人の就職状況等	23
(4)	相談状況	25
(5)	意見・要望等	28
3	関係機関・団体の相談担当者を対象とした調査	
(1)	ニート等の現状	29
(2)	保護者等の現状	29
(3)	相談機関との連携	30
(4)	各機関・団体の独自の支援策	30
(5)	意見・要望等	31
4	「フリーター」状態にある若者の聴き取り調査	32
III	まとめ	38
	【参考】	39
	関係機関・団体における相談受理状況 調査に協力いただいた関係機関・団体一覧	
	【資料（各調査票）】	
	アンケート調査票（本人用）	
	アンケート調査票（保護者等用）	
	若者自立支援に関する関係機関・団体状況調査票	
	「フリーター」状態にある若者の聴き取り調査票	

I 調査の概要

1 調査目的

フリーター，ニート，ひきこもり，不登校の社会的自立が困難な若者に対する支援施策を検討する際の参考として，その原因や状況等を把握する。

2 調査対象及び調査票

- (1) 本人を対象とした調査（アンケート調査票（本人用））
15歳から39歳までの，調査日現在，職に就いていない方（学生を除く。）
- (2) 保護者等を対象とした調査（アンケート調査票（保護者等用））
15歳から39歳までの，調査日現在，職に就いていない方と関わる保護者等（父親，母親，兄弟，姉妹，祖父，祖母，伯父・叔父，伯母・叔母など）
- (3) 関係機関・団体の相談担当者を対象にした調査（若者自立支援に関する関係機関・団体状況調査票）
フリーター，ニート，ひきこもり，不登校の方やその保護者等と関わる関係機関・団体の相談担当者
- (4) 「フリーター」状態にある若者の聴き取り調査（以下「フリーター調査」という。）
15歳から39歳の卒業生であって，女性にあっては，未婚者とし，さらに，現在就業している者については，勤め先における呼称が「アルバイト」又は「パート」である雇用者，現在無業の者については，家事も通学もしておらずアルバイト・パートの仕事を希望する者

3 調査方法

本調査は，関係機関・団体を通じて調査票の配布・回収を行った。また，本人及び保護者等のアンケート調査については，県ホームページにも掲載し，実施した。

なお，フリーター調査については，若者就職サポートセンター（キャッチワークかごしま，鹿屋サテライト）において，相談担当者による聴き取り調査を実施した。

4 調査期間

平成21年6月17日から同年12月10日までの約6箇月間

ただし，フリーター調査については，平成21年11月10日から平成22年1月8日までの約2箇月間

5 回答数

- (1) アンケート調査票（本人用，保護者等用）
回答数201人（うち，本人116人，保護者等85人）
- (2) 若者自立支援に関する関係機関・団体状況調査票
回答数 41 機関・団体
- (3) フリーター調査
回答数 73人

（注）統計数値について

各調査項目における百分比（％）は，小数点第2位を四捨五入して表示しており，四捨五入の結果，各々の項目の数値の和が100％とならない場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

1 本人を対象とした調査

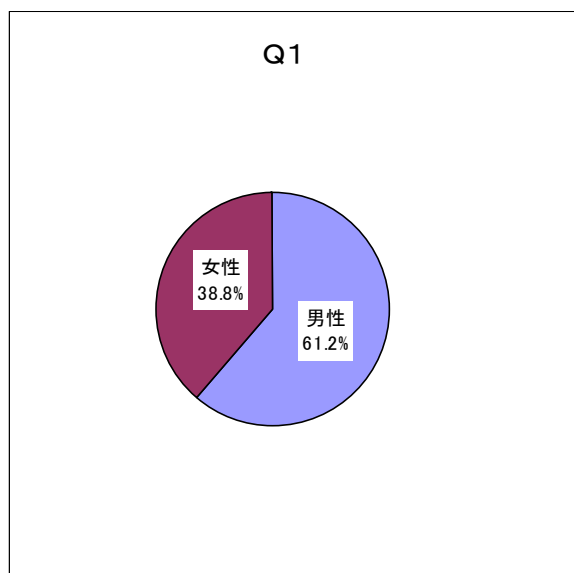
(1) 基本的な項目

Q1. あなたの性別は？

「男性」61.2%、「女性」38.8%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
男性	71	61.2
女性	45	38.8
計	116	

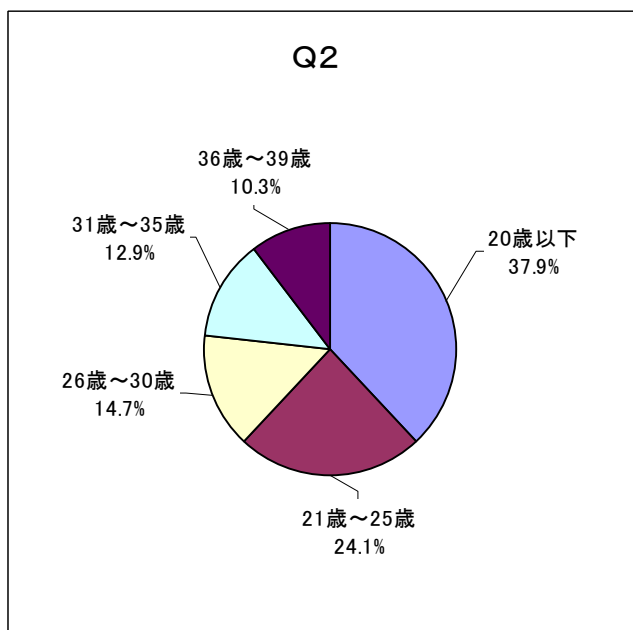


Q2. あなたは何歳ですか？

「20歳以下」37.9%、「21歳～25歳」24.1%、「26歳～30歳」14.7%、「31歳～35歳」12.9%、「36歳～39歳」10.3%であり、「20歳以下」の割合が最も高かった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
20歳以下	44	37.9
21歳～25歳	28	24.1
26歳～30歳	17	14.7
31歳～35歳	15	12.9
36歳～39歳	12	10.3
計	116	

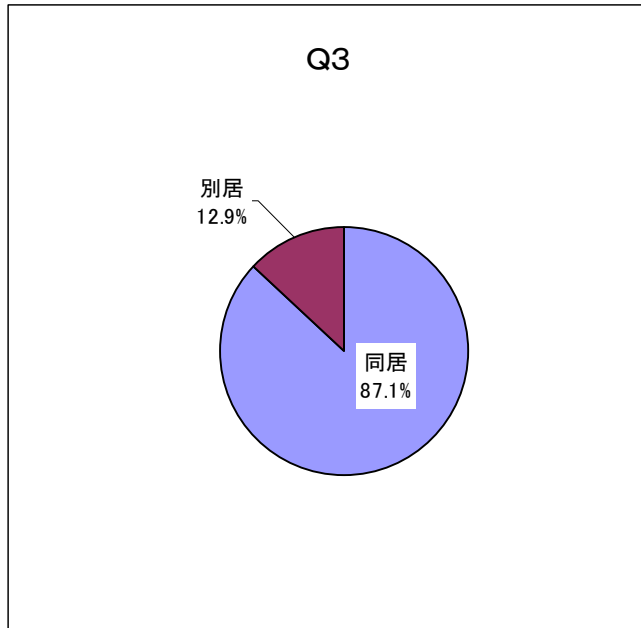


Q3. 親と同居していますか？

「同居」87.1%、「別居」12.9%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
同 居	101	87.1
別 居	15	12.9
計	116	

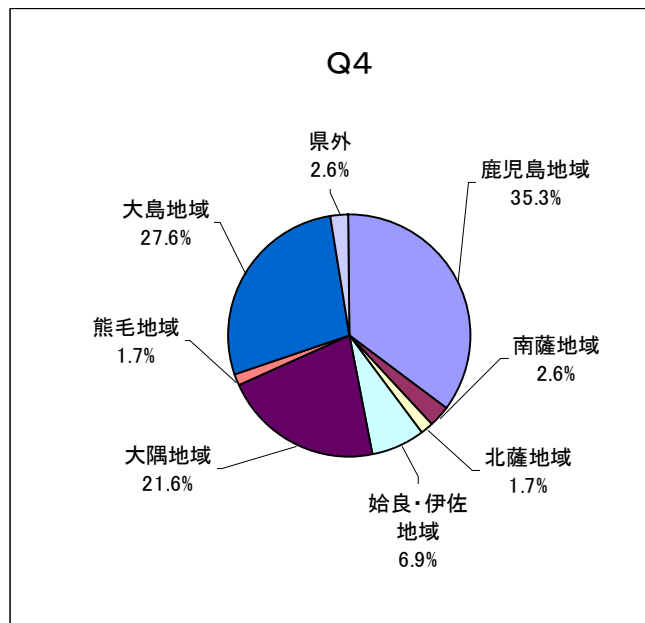


Q4. あなたの住んでいるところはどこですか？

「鹿児島地域」35.3%、「南薩地域」2.6%、「北薩地域」1.7%、「始良・伊佐地域」6.9%、「大隅地域」21.6%、「熊毛地域」1.7%、「大島地域」27.6%、「県外」2.6%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
鹿児島地域 ^{注1}	41	35.3
南薩地域 ^{注2}	3	2.6
北薩地域 ^{注3}	2	1.7
始良・伊佐地域 ^{注4}	8	6.9
大隅地域 ^{注5}	25	21.6
熊毛地域 ^{注6}	2	1.7
大島地域 ^{注7}	32	27.6
県外	3	2.6
計	116	



(注1) 鹿児島市,日置市,いちき串木野市,三島村,十島村

(注2) 枕崎市,指宿市,南さつま市,南九州市

(注3) 阿久根市,出水市,薩摩川内市,さつま町,長島町

(注4) 霧島市,伊佐市,加治木町,始良町,蒲生町,湧水町

(注5) 鹿屋市,垂水市,曾於市,志布志市,大崎町,東串良町,錦江町,南大隅町,肝付町

(注6) 西之表市,中種子町,南種子町,屋久島町

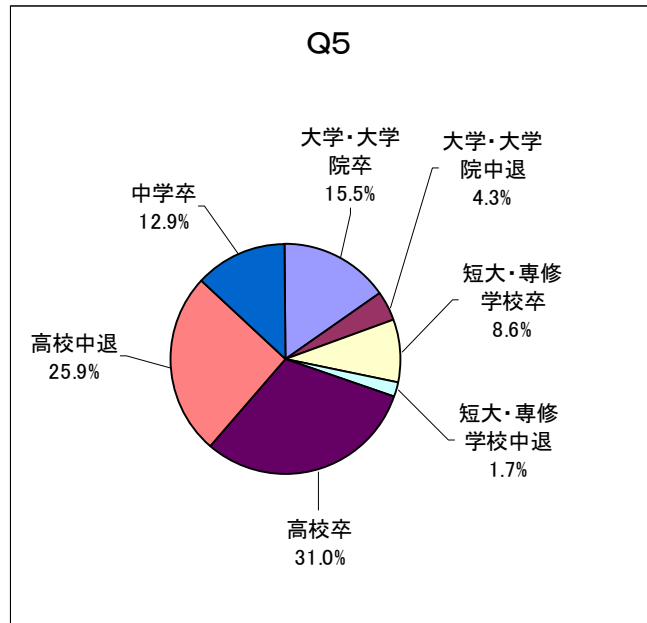
(注7) 奄美市,大和村,宇検村,瀬戸内町,龍郷町,喜界町,徳之島町,天城町,伊仙町,和泊町,知名町,与論町

Q5. あなたの卒業（中退を含む）した学校はどこですか？

「大学・大学院卒」15.5%、「大学・大学院中退」4.3%、「短大・専修学校卒」8.6%、「短大・専修学校中退」1.7%、「高校卒」31.0%、「高校中退」25.9%、「中学卒」12.9%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
大学・大学院卒	18	15.5
大学・大学院中退	5	4.3
短大・専修学校卒	10	8.6
短大・専修学校中退	2	1.7
高校卒	36	31.0
高校中退	30	25.9
中学卒	15	12.9
計	116	

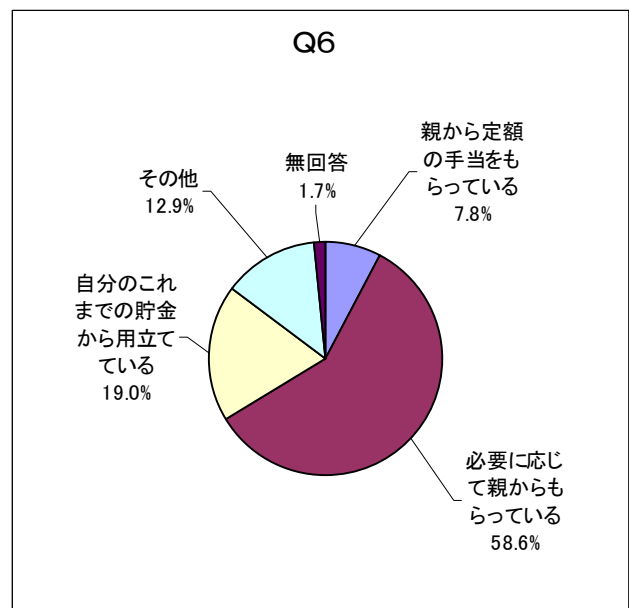


Q6. あなたの生活費はどうしていますか？

「親から定額の手当をもらっている」7.8%、「必要に応じて親からもらっている」58.6%、「自分のこれまでの貯金から用立てている」19.0%、「その他」12.9%であり、親からの支援を受けている者が約7割を占めた。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
親から定額の手当をもらっている	9	7.8
必要に応じて親からもらっている	68	58.6
自分のこれまでの貯金から用立てている	22	19.0
その他	15	12.9
無回答	2	1.7
計	116	



(2) 日頃の生活状況・経緯等

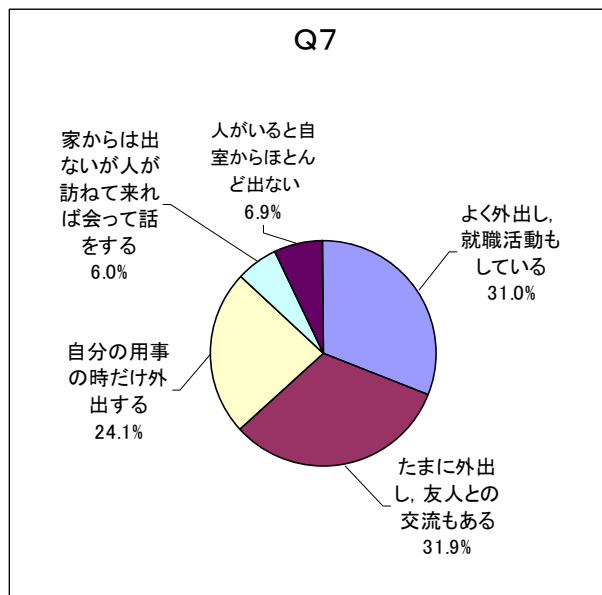
Q7. あなたの普段の過ごし方として最も近い状況のものを一つ選択してください。

「よく外出し、就職活動もしている」31.0%、「たまに外出し、友人との交流もある」31.9%、「自分の用事の時だけ外出する」24.1%、「家からは出ないが人が訪ねて来れば会って話をする」6.0%、「人がいると自室からほとんど出ない」6.9%であった。

いわゆる「ひきこもり」状態と考えられる者は、37.1%であった。

注 (単位:人,%)

区 分	回答数	割 合
よく外出し、就職活動もしている	36	31.0
たまに外出し、友人との交流もある	37	31.9
自分の用事の時だけ外出する	28	24.1
家からは出ないが人が訪ねて来れば会って話をする	7	6.0
人がいると自室からほとんど出ない	8	6.9
計	116	



(注)「ひきこもり」とは、厚生労働省のガイドラインで「様々な要因によって社会的な参加の場面がせばまり、就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態のこと」と定義されているが、明確な区分はないため、これに準ずる考え方として、この調査では、「よく外出し、就職活動もしている」、「たまに外出し、友人との交流もある」と答えた者以外を「ひきこもり」状態とした。

※ 「Q8」～「Q10」は、「Q7」で「ひきこもり」状態とした者を対象としている。

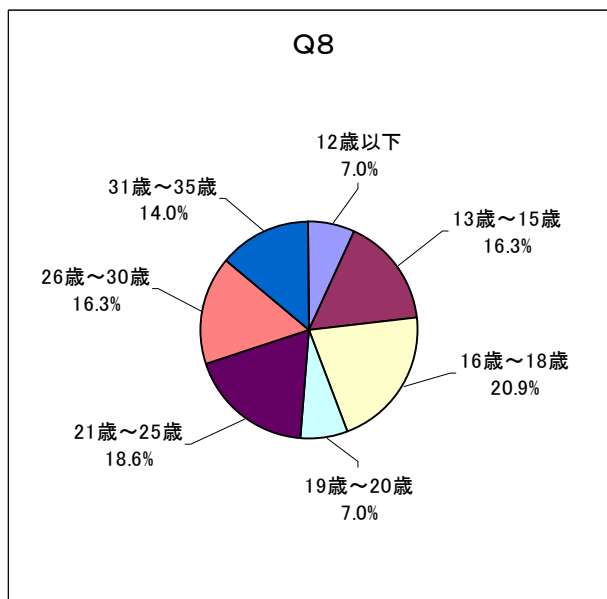
Q8. 「現在の状況」になったのは、あなたが何歳の頃ですか？

注

「12歳以下」7.0%、「13歳～15歳」16.3%、「16歳～18歳」20.9%、「19歳～20歳」7.0%、「21歳～25歳」18.6%、「26歳～30歳」16.3%、「31歳～35歳」14.0%であった。

(単位:人,%)

区 分	回答数	割 合
12歳以下	3	7.0
13歳～15歳	7	16.3
16歳～18歳	9	20.9
19歳～20歳	3	7.0
21歳～25歳	8	18.6
26歳～30歳	7	16.3
31歳～35歳	6	14.0
計	43	



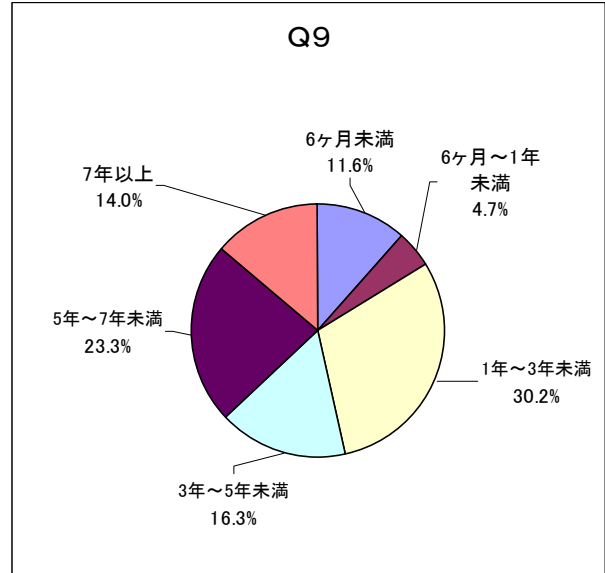
(注) この調査での「現在の状況」とは、「Q7」でいう「ひきこもり」状態のことをいう。

Q9. 「現在の状況」になってどのくらいの期間が経ちますか？

「6ヶ月未満」11.6%、「6ヶ月～1年未満」4.7%、「1年～3年未満」30.2%、「3年～5年未満」16.3%、「5年～7年未満」23.3%、「7年以上」14.0%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
6ヶ月未満	5	11.6
6ヶ月～1年未満	2	4.7
1年～3年未満	13	30.2
3年～5年未満	7	16.3
5年～7年未満	10	23.3
7年以上	6	14.0
計	43	

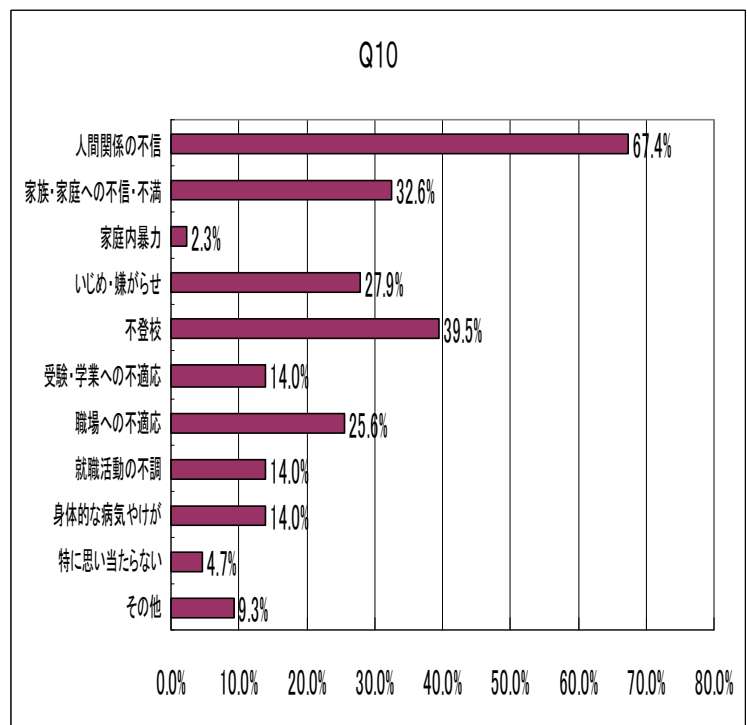


Q10. あなたが「現在の状況」になるまでにどんな出来事があったか、当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答可)

「人間関係の不信」67.4%が最も多く、次いで「不登校」39.5%、「家族・家庭への不信・不満」32.6%が上位を占めた。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
人間関係の不信	29	67.4
家族・家庭への不信・不満	14	32.6
家庭内暴力	1	2.3
いじめ・嫌がらせ	12	27.9
不登校	17	39.5
受験・学業への不適應	6	14.0
職場への不適應	11	25.6
就職活動の不調	6	14.0
身体的な病氣やけが	6	14.0
特に思い当たらない	2	4.7
その他	4	9.3
計	108	



※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

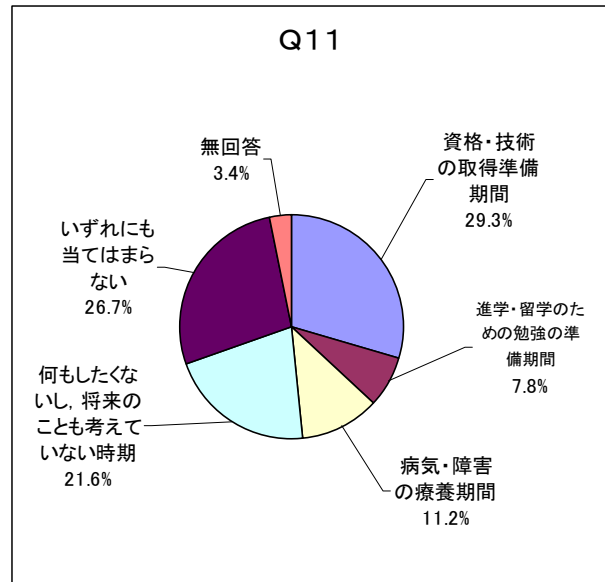
Q11. あなたの今の状態に当てはまると思われるのを一つ選択してください。

「資格・技術の取得準備期間」29.3%、「進学・留学のための勉強の準備期間」7.8%で、これらのいずれかを選んだ者は、37.1%であり、就労・就学への前向きな姿勢が伺えた。

また、「何もしたくないし、将来のことも考えていない時期」とした回答は、21.6%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
資格・技術の取得準備期間	34	29.3
進学・留学のための勉強の準備期間	9	7.8
病気・障害の療養期間	13	11.2
何もしたくないし、将来のことも考えていない時期	25	21.6
いずれにも当てはまらない	31	26.7
無回答	4	3.4
計	116	



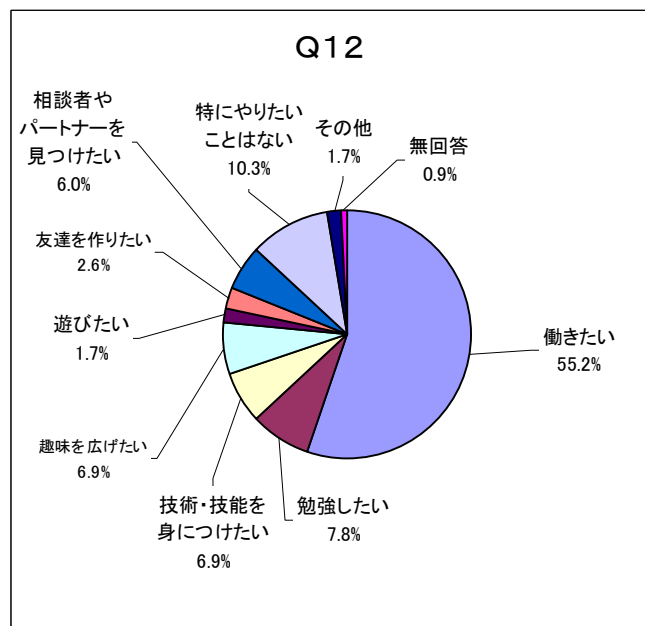
Q12. 今、「最もやりたい」と思うことを一つ選択してください。

「働きたい」が55.2%、「勉強したい」7.8%、「技術・技能を身につけたい」6.9%で、これらのいずれかを選んだ者は、69.8%であり、就労・就学を望む回答が多かった。

反面、「特にやりたいことはない」10.3%、「遊びたい」1.7%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
働きたい	64	55.2
勉強したい	9	7.8
技術・技能を身につけたい	8	6.9
趣味を広げたい	8	6.9
遊びたい	2	1.7
友達を作りたい	3	2.6
相談者やパートナーを見つけない	7	6.0
特にやりたいことはない	12	10.3
その他	2	1.7
無回答	1	0.9
計	116	



Q13. 「最もやりたい」ことを実現していくためには、どんな助け（支援）があればいいと思いますか？（自由記述）

- ・雇用されやすい環境をつくってほしい。
- ・学ぶ機会と場所を提供してほしい。
- ・きめ細かい職業訓練やセミナーを鹿児島だけでなく離島でもやってほしい。
- ・成功談を聞いたり、いろいろな体験がしたい。
- ・就業，就学（資格取得等）への支援金がほしい。
- ・職業安定所以外でも，市町村で仕事の情報を取りまとめ又は斡旋してくれる窓口があれば良い。
- ・同じ悩みを持っている人達の居場所がほしい。
- ・午前10時から午後5時位まで自由に出入りできる場所がほしい。

（3）これまでの仕事・就職活動等の状況

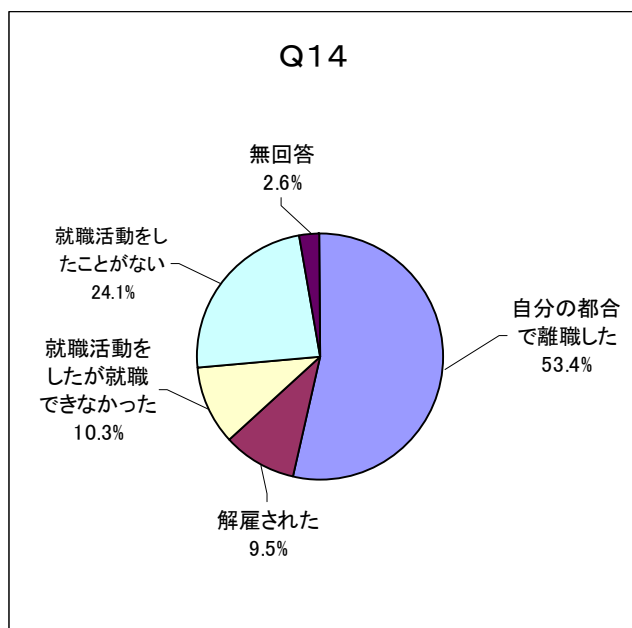
Q14. 就職活動の経緯について、以下の中から、最も近いものを一つ選択してください。

「自分の都合で離職した」53.4%、「解雇された」9.5%、「就職活動をしたが就職できなかった」10.3%であった。

また、「就職活動をしたことがない」とした回答が24.1%であった。

（単位：人，％）

区 分	回答数	割 合
自分の都合で離職した	62	53.4
解雇された	11	9.5
就職活動をしたが就職できなかった	12	10.3
就職活動をしたことがない	28	24.1
無回答	3	2.6
計	116	

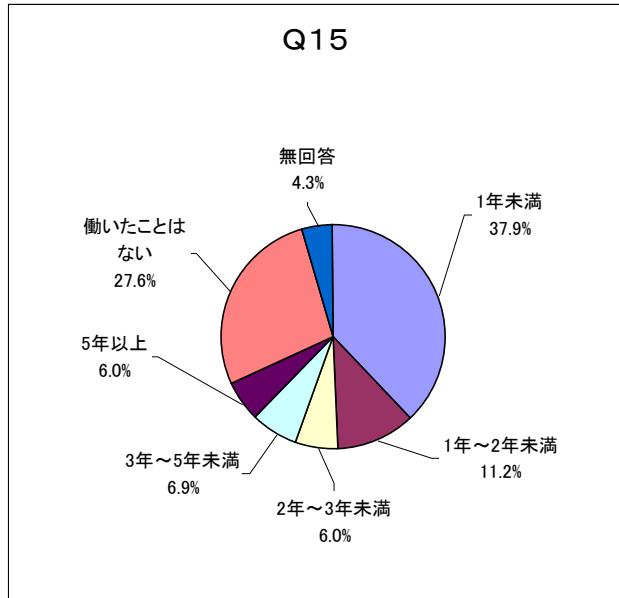


Q15. 最後の仕事から、どれくらいの期間が経ちましたか？

「1年未満」37.9%、「1年～2年未満」11.2%、「2年～3年未満」6.0%、「3年～5年未満」6.9%、「5年以上」6.0%であった。
また、「働いたことはない」とした回答が27.6%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
1年未満	44	37.9
1年～2年未満	13	11.2
2年～3年未満	7	6.0
3年～5年未満	8	6.9
5年以上	7	6.0
働いたことはない	32	27.6
無回答	5	4.3
計	116	

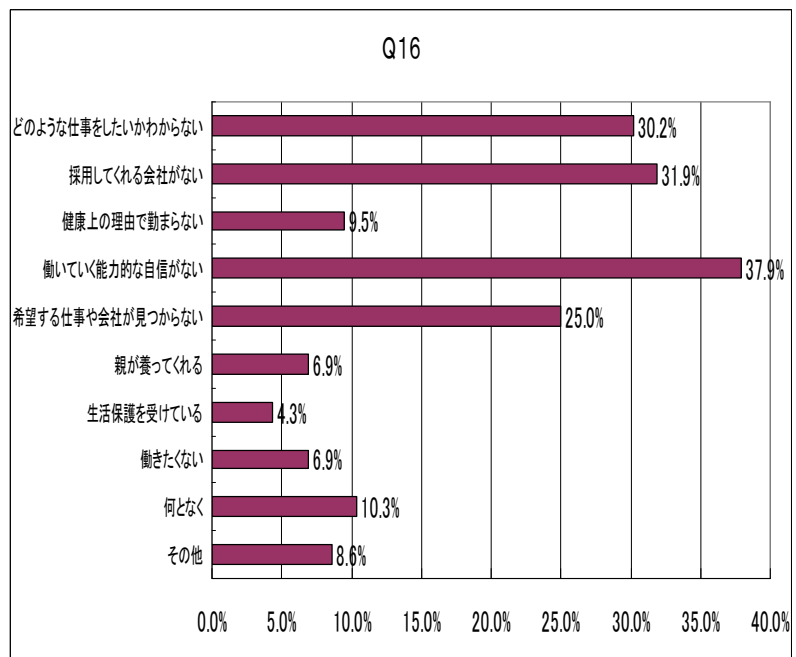


Q16. 就職していないことについて、理由として当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答可)

「働いていく能力的な自信がない」37.9%が最も多く、次いで「採用してくれる会社がない」31.9%、「どのような仕事をしたいかわからない」30.2%、「希望する仕事や会社が見つからない」25.0%が上位を占めた。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
どのような仕事をしたいかわからない	35	30.2
採用してくれる会社がない	37	31.9
健康上の理由で勤まらない	11	9.5
働いていく能力的な自信がない	44	37.9
希望する仕事や会社が見つからない	29	25.0
親が養ってくれる	8	6.9
生活保護を受けている	5	4.3
働きたくない	8	6.9
何となく	12	10.3
その他	10	8.6
計	199	



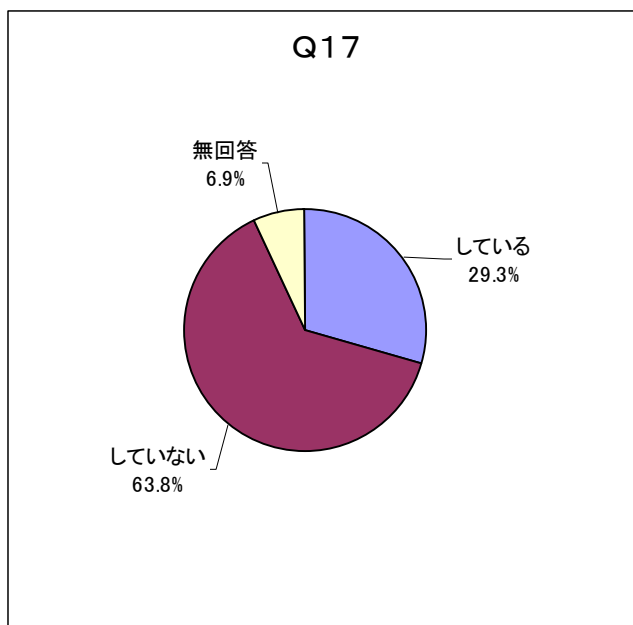
※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

Q17. あなたは、就職活動（就職支援セミナーの受講等を含む）をしていますか？

就職活動について、「している」29.3%、「していない」63.8%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
している	34	29.3
していない	74	63.8
無回答	8	6.9
計	116	



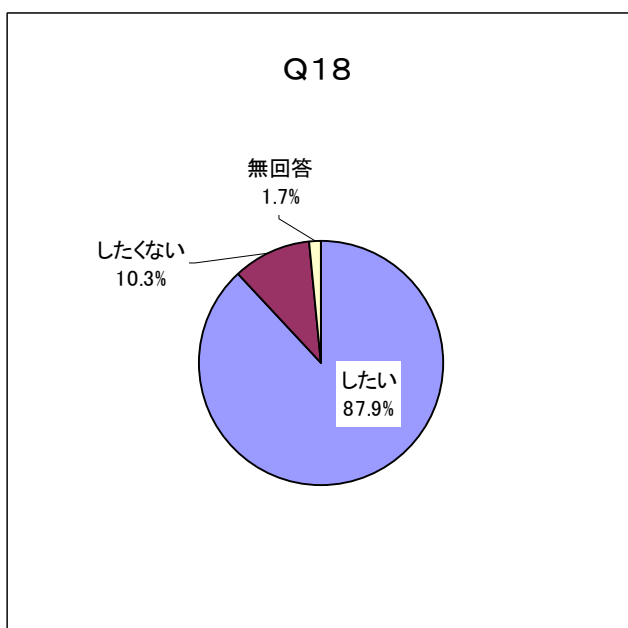
(4) 職業・就職に関する考え方

Q18. あなたは、就職をしたいと思いますか？

就職について、「したい」87.9%、「したくない」10.3%であり、約9割の者が就職を望んでいた。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
したい	102	87.9
したくない	12	10.3
無回答	2	1.7
計	116	

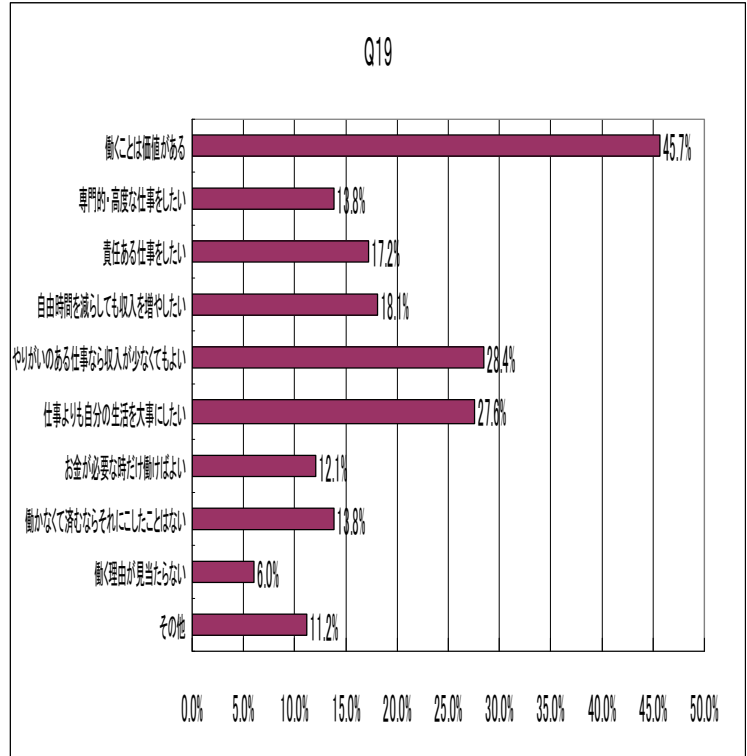


Q19. 「職業」についての自分の考え方で当てはまるものをすべて選択してください。
(複数回答可)

「働くことは価値がある」45.7%が最も多く、次いで「やりがいのある仕事なら収入が少なくてもよい」28.4%、「仕事よりも自分の生活を大事にしたい」27.6%が上位を占めた。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
働くことは価値がある	53	45.7
専門的・高度な仕事をしたい	16	13.8
責任ある仕事をしたい	20	17.2
自由時間を減らしても収入を増やしたい	21	18.1
やりがいのある仕事なら収入が少なくてもよい	33	28.4
仕事よりも自分の生活を大事にしたい	32	27.6
お金が必要な時だけ働けばよい	14	12.1
働かなくて済むならそれにこしたことはない	16	13.8
働く理由が見当たらない	7	6.0
その他	13	11.2
計	225	



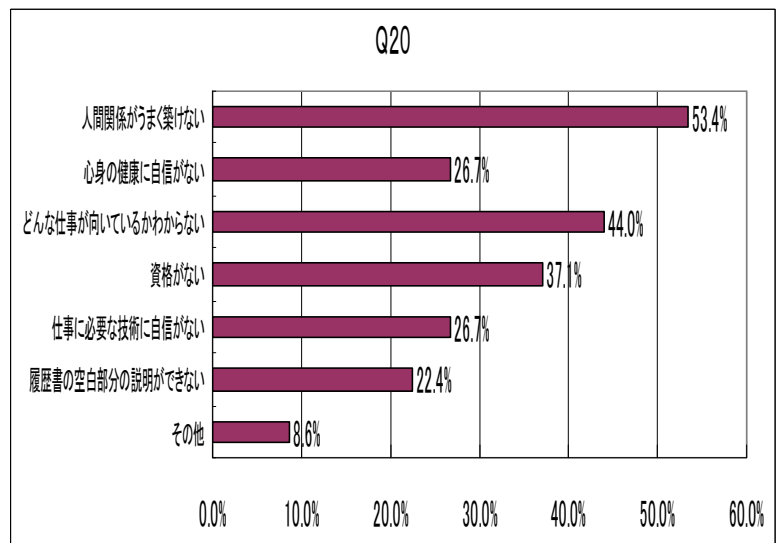
※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

Q20. 「就職」を考えた時不安になることで、当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答可)

「人間関係がうまく築けない」53.4%、「どんな仕事に向いているかわからない」44.0%、「資格がない」37.1%が上位を占めた。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
人間関係がうまく築けない	62	53.4
心身の健康に自信がない	31	26.7
どんな仕事に向いているかわからない	51	44.0
資格がない	43	37.1
仕事に必要な技術に自信がない	31	26.7
履歴書の空白部分の説明ができない	26	22.4
その他	10	8.6
計	254	



※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

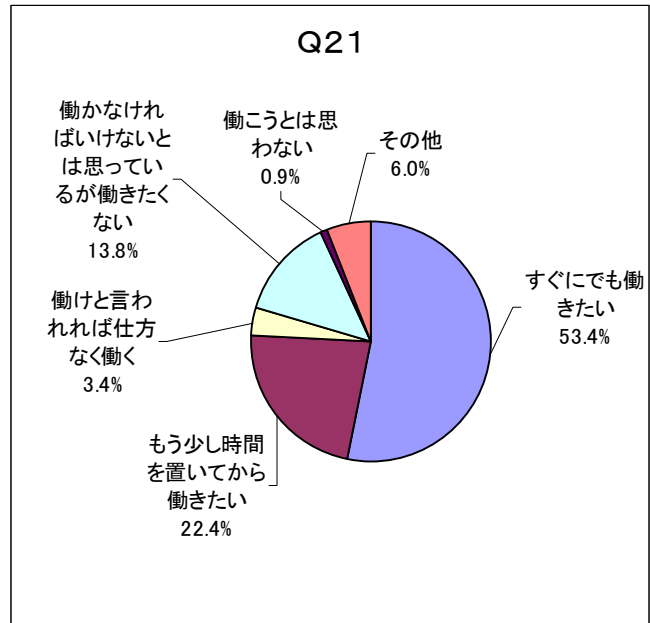
Q21. 「就職」について最も当てはまるものを一つ選択してください。

「すぐにでも働きたい」53.4%、「もう少し時間を置いてから働きたい」22.4%であった。

また、「働かなければいけないと思っているが働きたくない」13.8%、「働こうとは思わない」0.9%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
すぐにでも働きたい	62	53.4
もう少し時間を置いてから働きたい	26	22.4
働けと言われれば仕方なく働く	4	3.4
働かなければいけないとは思っているが働きたくない	16	13.8
働こうとは思わない	1	0.9
その他	7	6.0
計	116	

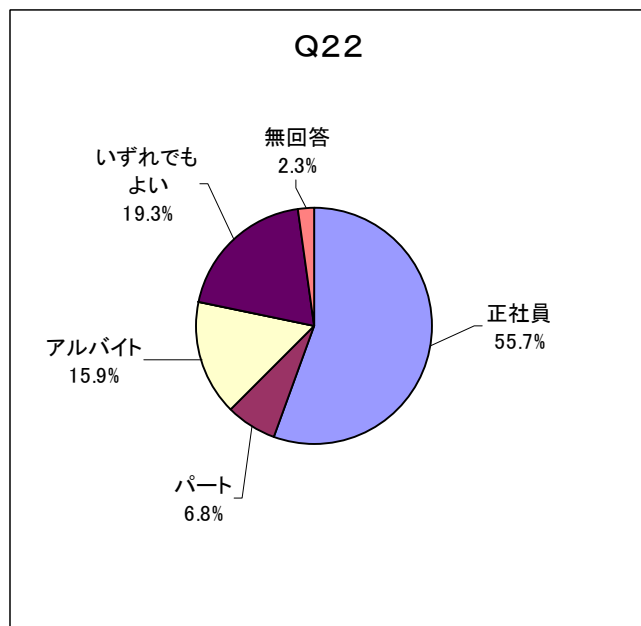


Q22. 上記(Q21)で「すぐにでも働きたい」又は「もう少し時間を置いてから働きたい」とお答えの方のみ、あなたが望む労働形態について一つ選択してください。

「働きたい」と答えた者が望む労働形態については、「正社員」が55.7%と最も多かった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
正社員	49	55.7
パート	6	6.8
アルバイト	14	15.9
派遣・契約社員	0	0.0
いずれでもよい	17	19.3
無回答	2	2.3
計	88	



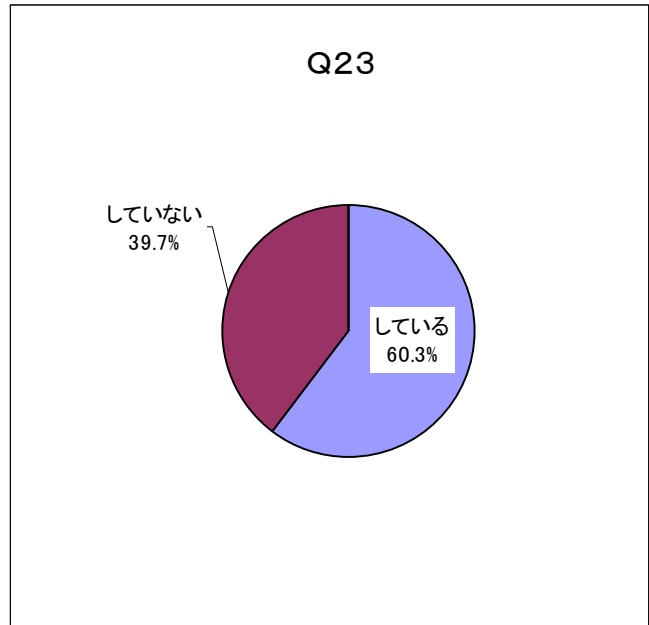
(5) 相談状況

Q23. あなたは、就職や生活状況などについて親に相談していますか？

親への相談について、「している」60.3%、「していない」39.7%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
している	70	60.3
していない	46	39.7
計	116	

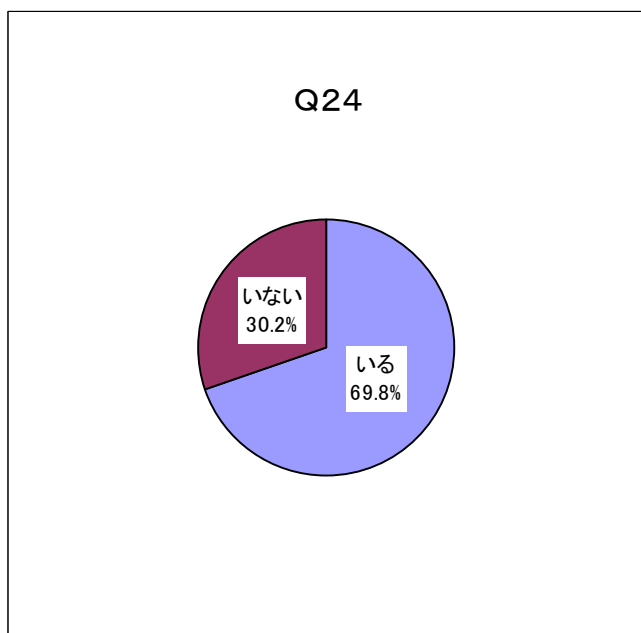


Q24. あなたは、就職や生活状況などについて親以外に相談できる人がいますか？

「いる」69.8%、「いない」30.2%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
いる	81	69.8
いない	35	30.2
計	116	

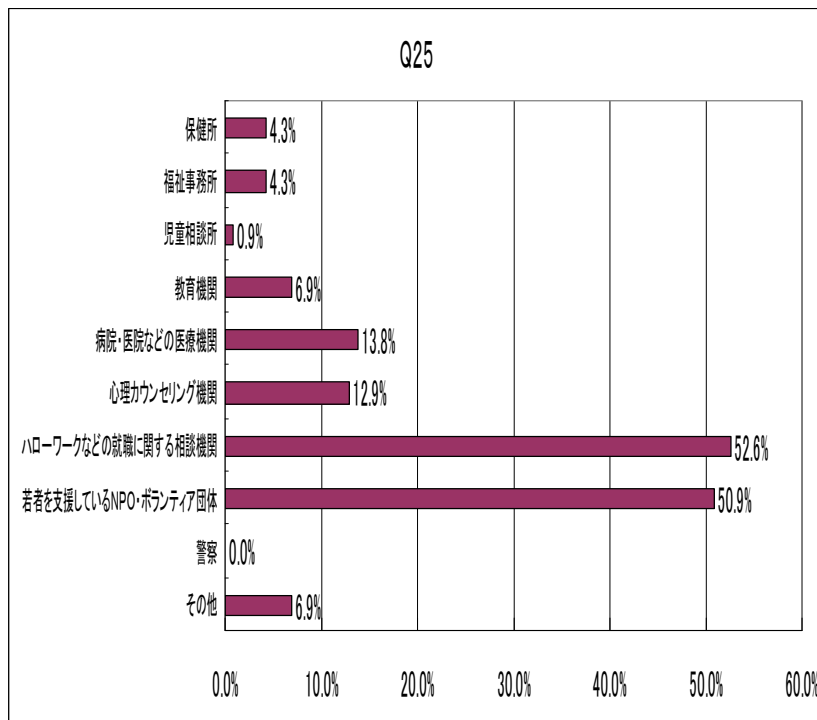


Q25. 相談したことがある機関・団体を、次のうちからすべて選択してください。
(複数回答可)

「ハローワークなどの就職に関する相談機関」52.6%、「若者を支援しているNPO・ボランティア団体」50.9%が上位を占めた。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
保健所	5	4.3
福祉事務所	5	4.3
児童相談所	1	0.9
教育機関	8	6.9
病院・医院などの医療機関	16	13.8
心理カウンセリング機関	15	12.9
ハローワークなどの就職に関する相談機関	61	52.6
若者を支援しているNPO・ボランティア団体	59	50.9
警察	0	0.0
その他	8	6.9
計	178	



※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

(6) 意見・要望等

Q26. 「現在抱えている悩み」があれば、お聞かせください。(自由記述)

- ・対人関係をうまく築けるか不安である。
- ・自分が客観的にどう見られているか不安である。
- ・ネガティブな考え方になってしまい行き詰まってしまう。
- ・このままムダに時間が経つかも知れない。
- ・生きていることの意味がわからない。
- ・生活できるだけの給料が貰える仕事に就けるか不安である。
- ・病气療養中のためできる仕事に限られていて就職できない。
- ・基礎学力への不安がある。
- ・働いておらず収入がなくても、毎月決まった支払いがあり、その事を考えると憂鬱になる。
- ・求人情報を見ても、専門職であったり、年齢制限等でなかなか採用してもらえない。
- ・変わりたいが行動を起こし失敗した場合、もう次の機会に挑戦できなくなると考えると、踏み出せない。
- ・求人へ応募するが採用されず、不採用が続くと、働こうという意欲がなくなる。

Q27. 親，学校，相談機関（団体），企業，行政等への意見，要望があれば自由にご記入ください。（自由記述）

- ・発達障害者の人にもっと生活面での援助がほしい。
- ・働きたい人が働けるような環境を作ってほしい。
- ・この仕事と決めた人向けの研修などはあるが，仕事内容がわかるような体験会のようなものがあると参加しやすい。
- ・企業・行政とも若年者の雇用についてもっと考えてほしい。
- ・職業の情報を取りまとめている窓口のようなものがほしい。
- ・雇用されやすい環境をつくってほしい。
- ・市町村でも相談できるような，もっと身近に相談できる場所がほしい。
- ・フリースクールへの補助金や自助活動グループに対する行政の支持が必要である。
- ・不安や苦しく痛くなった時，すぐに駆け込める体制がほしい。

2 保護者等を対象とした調査

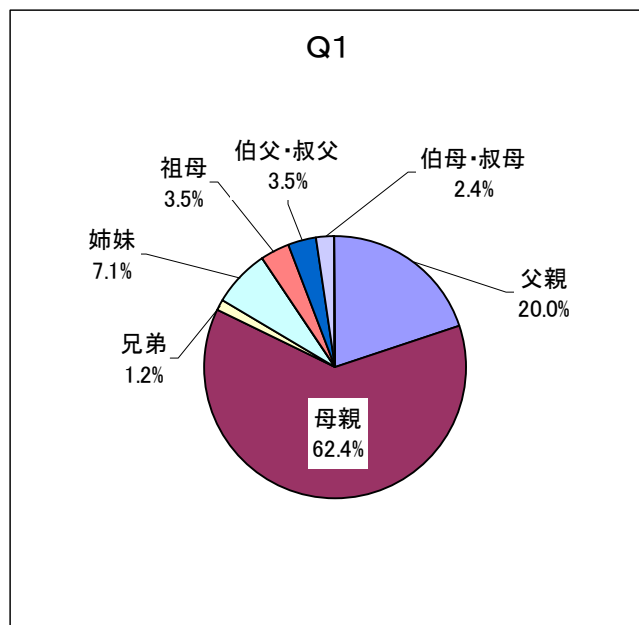
(1) 基本的な項目

Q1. ご本人との関係（続柄）は何ですか？

「母親」62.4%、「父親」20.0%と、約8割が両親のいずれかからの回答であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
父親	17	20.0
母親	53	62.4
兄弟	1	1.2
姉妹	6	7.1
祖父	0	0.0
祖母	3	3.5
伯父・叔父	3	3.5
伯母・叔母	2	2.4
その他	0	0.0
計	85	



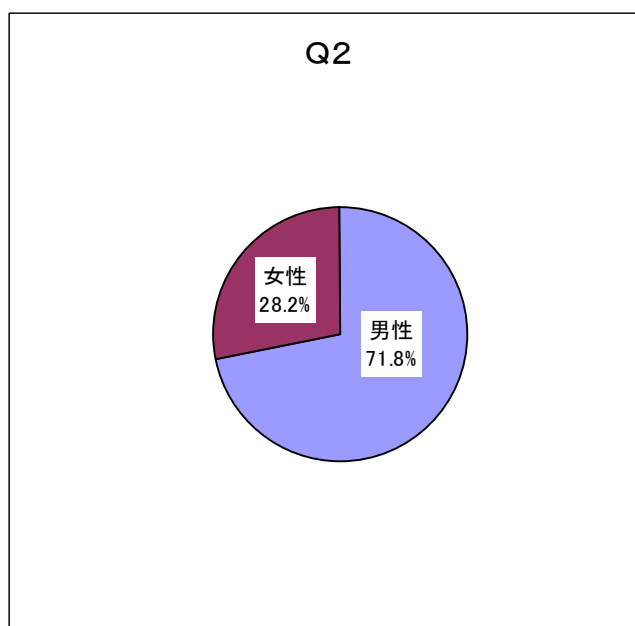
Q2. ご本人の性別は？

「男性」71.8%、「女性」28.2%であった。
「本人」による回答と同様で、男性の割合が高かった。

(P2,「Q1」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
男 性	61	71.8
女 性	24	28.2
計	85	



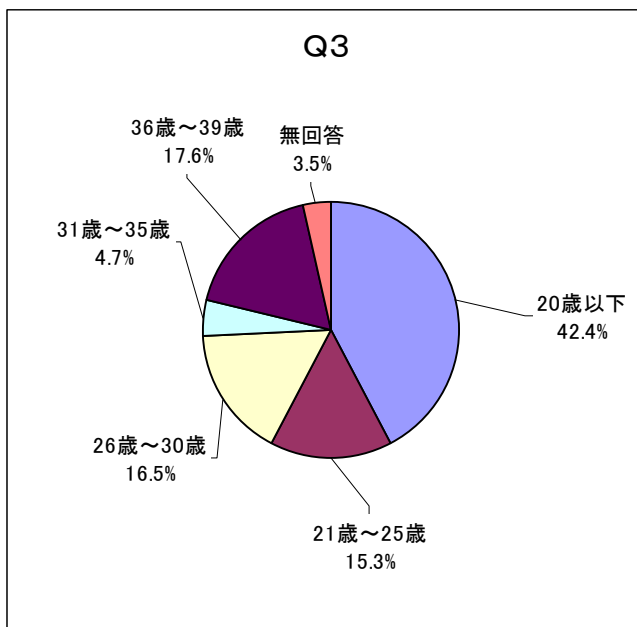
Q3. ご本人は何歳ですか？

「20歳以下」42.4%、「21歳～25歳」15.3%、「26歳～30歳」16.5%、「31歳～35歳」4.7%、「36歳～39歳」17.6%であった。
「本人」による回答と同様で、「20歳以下」の割合が高かった。

(P2,「Q2」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
20歳以下	36	42.4
21歳～25歳	13	15.3
26歳～30歳	14	16.5
31歳～35歳	4	4.7
36歳～39歳	15	17.6
無回答	3	3.5
計	85	



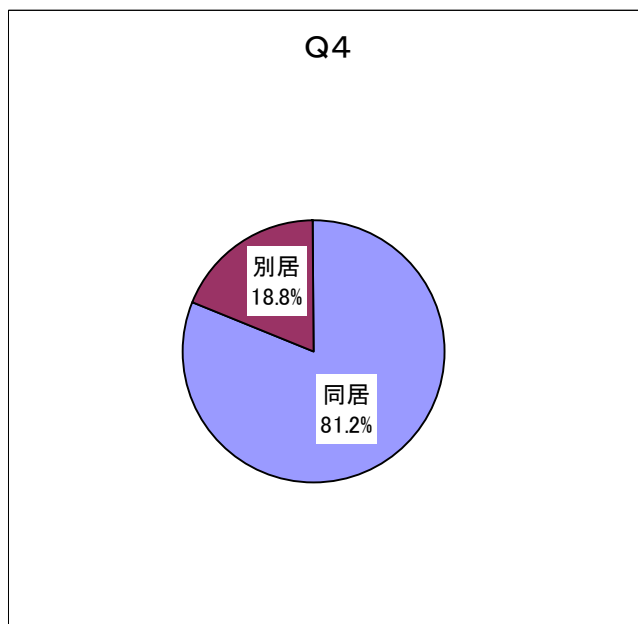
Q4. ご本人はあなた（保護者等）と同居していますか？

「同居」81.2%、「別居」18.8%であった。
「本人」による回答と同様で、「同居」の割合が高かった。

(P3,「Q3」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
同 居	69	81.2
別 居	16	18.8
計	85	



Q5. あなた（保護者等）の住んでいるところはどこですか？

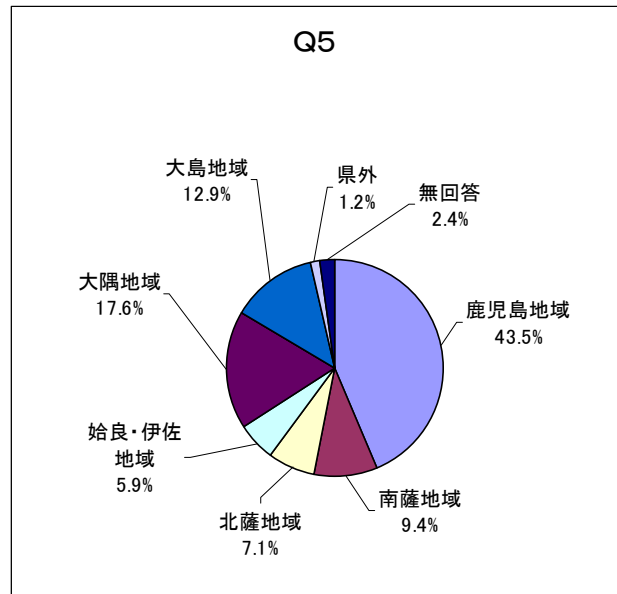
「鹿児島地域」43.5%、「南薩地域」9.4%、「北薩地域」7.1%、「始良・伊佐地域」5.9%、「大隅地域」17.6%、「大島地域」12.9%、「県外」1.2%であった。

「本人」による回答と同様で、「鹿児島地域」の割合が高かった。

(P3,「Q4」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
鹿児島地域 ^{注1}	37	43.5
南薩地域 ^{注2}	8	9.4
北薩地域 ^{注3}	6	7.1
始良・伊佐地域 ^{注4}	5	5.9
大隅地域 ^{注5}	15	17.6
熊毛地域 ^{注6}	0	0.0
大島地域 ^{注7}	11	12.9
県外	1	1.2
無回答	2	2.4
計	85	



(注1) 鹿児島市,日置市,いちき串木野市,三島村,十島村

(注2) 枕崎市,指宿市,南さつま市,南九州市

(注3) 阿久根市,出水市,薩摩川内市,さつま町,長島町

(注4) 霧島市,伊佐市,加治木町,始良町,蒲生町,湧水町

(注5) 鹿屋市,垂水市,曾於市,志布志市,大崎町,東串良町,錦江町,南大隅町,肝付町

(注6) 西之表市,中種子町,南種子町,屋久島町

(注7) 奄美市,大和村,宇検村,瀬戸内町,龍郷町,喜界町,徳之島町,天城町,伊仙町,和泊町,知名町,与論町

Q6. ご本人の卒業（中退を含む）した学校はどこですか？

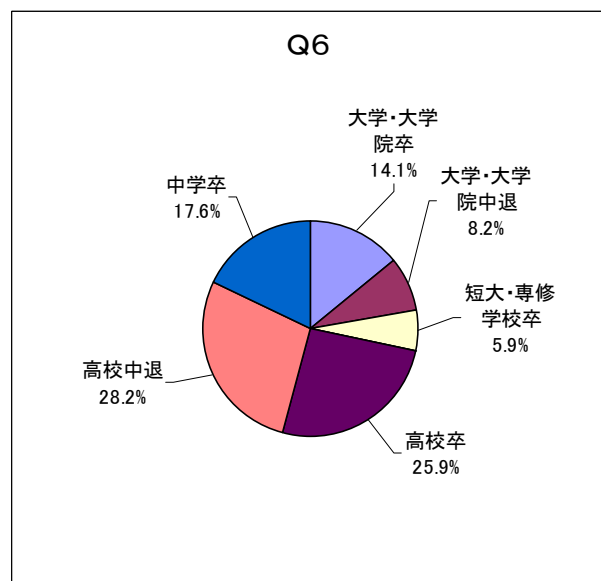
「大学・大学院卒」14.1%、「大学・大学院中退」8.2%、「短大・専修学校卒」5.9%、「高校卒」25.9%、「高校中退」28.2%、「中学卒」17.6%であった。

「本人」による回答と同様で、「高校卒」、「高校中退」の割合が高かった。

(P4,「Q5」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
大学・大学院卒	12	14.1
大学・大学院中退	7	8.2
短大・専修学校卒	5	5.9
短大・専修学校中退	0	0.0
高校卒	22	25.9
高校中退	24	28.2
中学卒	15	17.6
計	85	



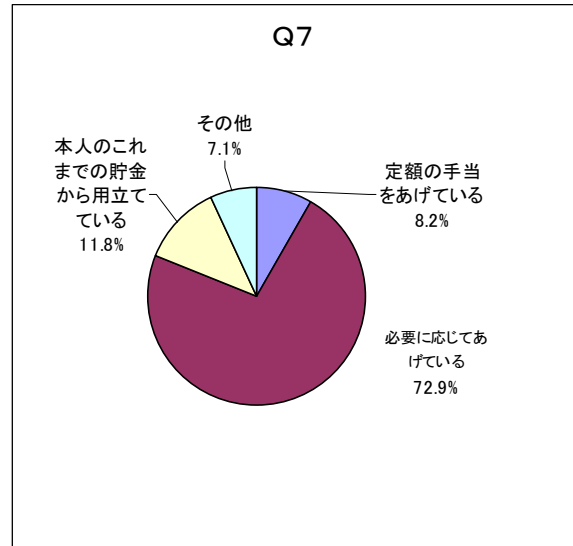
Q7. ご本人の生活費はどうしていますか？

「定額の手当をあげている」8.2%、「必要に応じてあげている」72.9%、「本人のこれまでの貯金から用立てている」11.8%、「その他」7.1%であった。
「本人」による回答と同様，親などから支援を受けている者が多く，約8割を占めた。

(P4,「Q6」参照)

(単位:人,%)

区分	回答数	割合
定額の手当をあげている	7	8.2
必要に応じてあげている	62	72.9
本人のこれまでの貯金から用立てている	10	11.8
その他	6	7.1
計	85	



(2) 本人の生活状況・経緯等

Q8. ご本人の普段の過ごし方として最も近い状況のものを一つ選択してください。

「よく外出し，就職活動もしている」15.3%、「たまに外出し，友人との交流もある」25.9%、「自分の用事の時だけ外出する」38.8%、「家からは出ないが人が来れば会って話をする」10.6%、「人がいると自室からほとんど出ない」9.4%であった。

いわゆる「ひきこもり」状態と考えられる者は，58.8%であった。

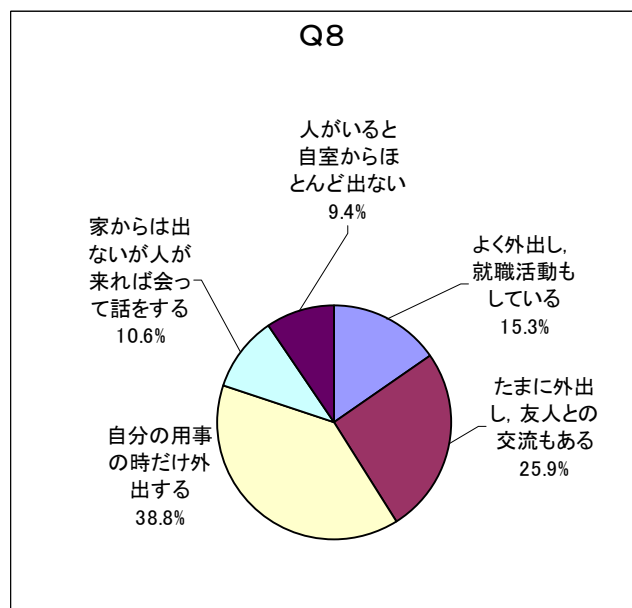
注

「本人」による回答と比べると、「自分の用事の時だけ外出する」の割合が高かった。

(P5,「Q7」参照)

(単位:人,%)

区分	回答数	割合
よく外出し，就職活動もしている	13	15.3
たまに外出し，友人との交流もある	22	25.9
自分の用事の時だけ外出する	33	38.8
家からは出ないが人が来れば会って話をする	9	10.6
人がいると自室からほとんど出ない	8	9.4
計	85	



(注)「ひきこもり」とは，厚生労働省のガイドラインで「様々な要因によって社会的な参加の場がせばまり，就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態のこと」と定義されているが，明確な区分はないため，これに準ずる考え方として，この調査では，「よく外出し，就職活動もしている」，「たまに外出し，友人との交流もある」と答えた者以外を「ひきこもり」状態とした。

※ 「Q9」～「Q11」は、「Q8」で「ひきこもり」状態とした者を対象としている。

Q9. 「現在の状況」になったのは、ご本人が何歳の頃ですか？

注

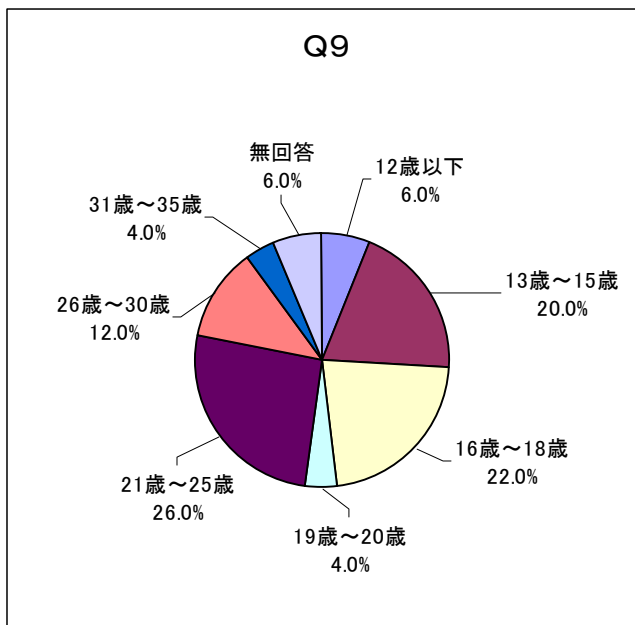
「12歳以下」6.0%、「13歳～15歳」20.0%、「16歳～18歳」22.0%、「19歳～20歳」4.0%、「21歳～25歳」26.0%、「26歳～30歳」12.0%、「31歳～35歳」4.0%であった。

「本人」による回答とほぼ同様であつが、「21歳～25歳」の割合がやや高かつた。

(P5,「Q8」参照)

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
12歳以下	3	6.0
13歳～15歳	10	20.0
16歳～18歳	11	22.0
19歳～20歳	2	4.0
21歳～25歳	13	26.0
26歳～30歳	6	12.0
31歳～35歳	2	4.0
無回答	3	6.0
計	50	



(注) この調査での「現在の状況」とは、「Q8」でいう「ひきこもり」状態のことをいう。

Q10. ご本人が「現在の状況」になってどのくらいの期間が経ちますか？

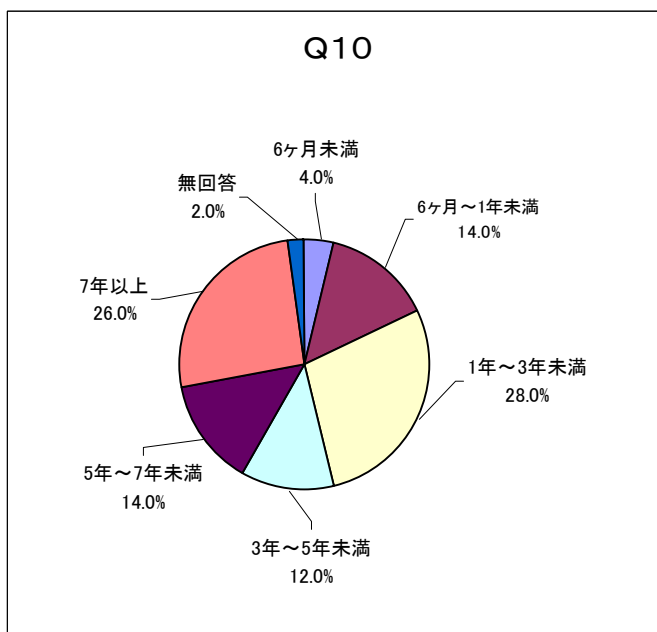
「6ヶ月未満」4.0%、「6ヶ月～1年未満」14.0%、「1年～3年未満」28.0%、「3年～5年未満」12.0%、「5年～7年未満」14.0%、「7年以上」26.0%であった。

「本人」による回答とほぼ同様であつたが、「7年以上」の割合が特に高かつた。

(P6,「Q9」参照)

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
6ヶ月未満	2	4.0
6ヶ月～1年未満	7	14.0
1年～3年未満	14	28.0
3年～5年未満	6	12.0
5年～7年未満	7	14.0
7年以上	13	26.0
無回答	1	2.0
計	50	



Q11. ご本人が「現在の状況」になるまでにどんな出来事があったか、当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答可)

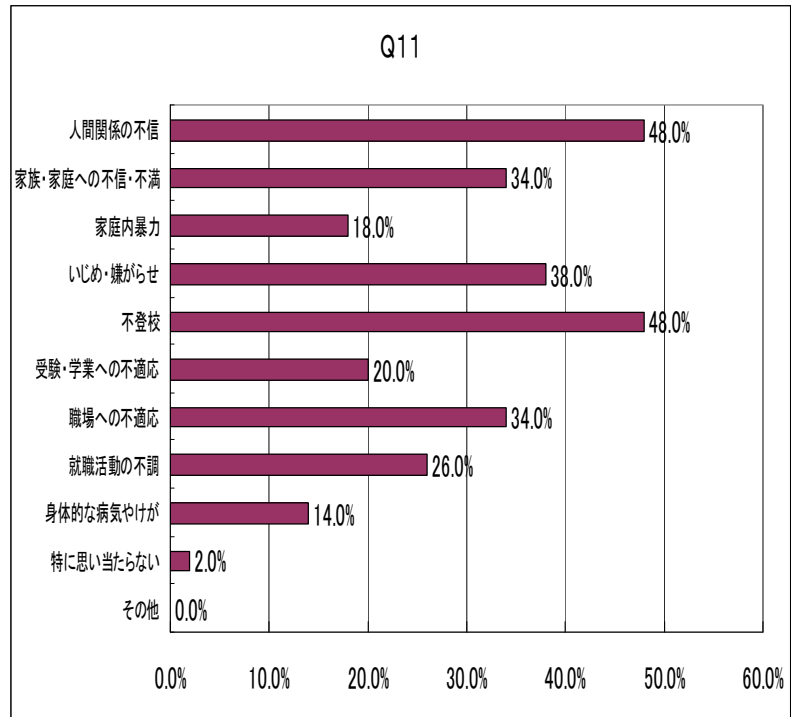
「人間関係の不信」,「不登校」48.0%が最も多く、次いで、「いじめ・嫌がらせ」38.0%,「家族・家庭への不信・不満」,「職場への不適應」34.0%が上位を占めた。

「本人」による回答とほぼ同様であったが、「職場への不適應」,「就職活動の不調」(P6,「Q10」参照)

といった就労に関する割合が高かった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割合
人間関係の不信	24	48.0
家族・家庭への不信・不満	17	34.0
家庭内暴力	9	18.0
いじめ・嫌がらせ	19	38.0
不登校	24	48.0
受験・学業への不適應	10	20.0
職場への不適應	17	34.0
就職活動の不調	13	26.0
身体的な病気やけが	7	14.0
特に思い当たらない	1	2.0
その他	0	0.0
計	141	



※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

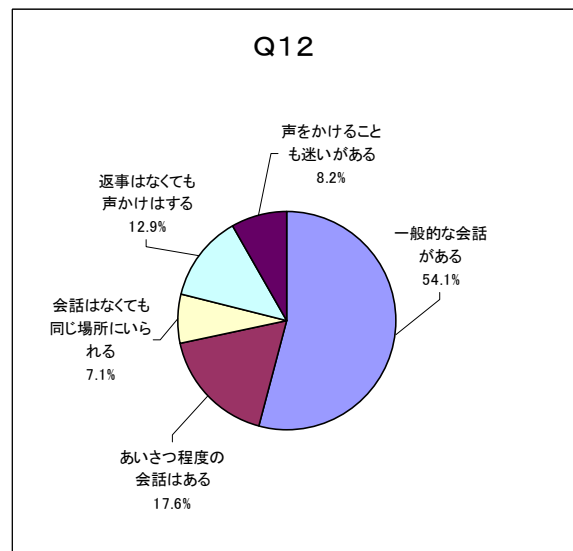
Q12. ご本人との接し方について当てはまるものを一つ選択してください。

「一般的な会話がある」54.1%,「あいさつ程度の会話はある」17.6%であり、約7割以上の者が家庭内での関わりは持っていた。

反面、「声をかけることも迷いがある」と答えた者も8.2%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割合
一般的な会話がある	46	54.1
あいさつ程度の会話はある	15	17.6
会話はなくても同じ場所にいられる	6	7.1
返事はなくても声かけはする	11	12.9
声をかけることも迷いがある	7	8.2
計	85	



Q13. ご本人に最もやってもらいたいと思うことを一つ選択してください。

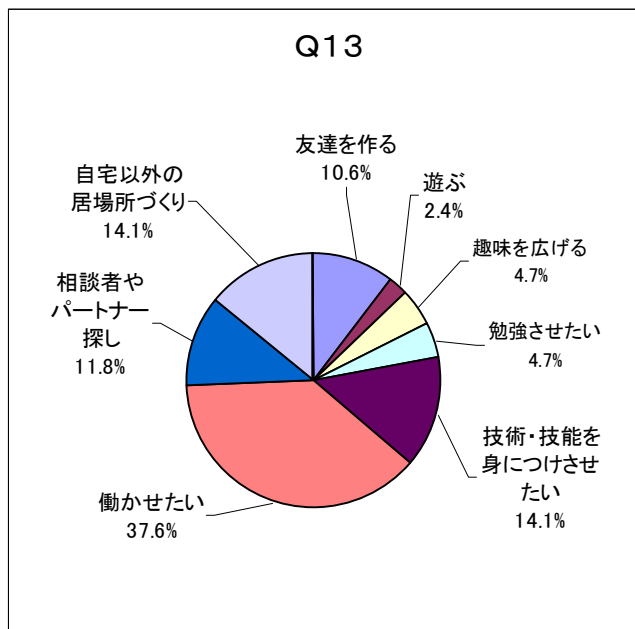
「働かせたい」37.6%、「技術・技能を身につけさせたい」14.1%、「勉強させたい」4.7%で、これらのいずれかを選んだ者は56.5%であった。

「本人」による回答と同様、就労・就学を望む回答が多かった。

(P7,「Q12」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
友達を作る	9	10.6
遊ぶ	2	2.4
趣味を広げる	4	4.7
勉強させたい	4	4.7
技術・技能を身につけさせたい	12	14.1
働かせたい	32	37.6
相談者やパートナー探し	10	11.8
自宅以外の居場所づくり	12	14.1
その他	0	0.0
計	85	



Q14. 「最もやらせたい」ことを実現していくためには、どんな助け（支援）があればいいと思いますか？（自由記述）

- ・ 資格や技能を取得できるように金銭的な支援があると良い。
- ・ 相談機関が鹿児島市だけでなく地方にもあれば良い。（キャッチワークで行われている臨床心理士による相談を地方でも数ヶ月に1回でもやってほしい。）
- ・ 心の傷をケアする場所（フリースクールなど）の提供を低価格でやってほしい。
- ・ 本人の能力にあった就労支援があると良い。
- ・ 本人の悩みや状態を理解してくれる人や場所があると良い。
- ・ 大人数では学べないので、短時間でも個人（一人）で学べる仕組みや資金援助があると良い。

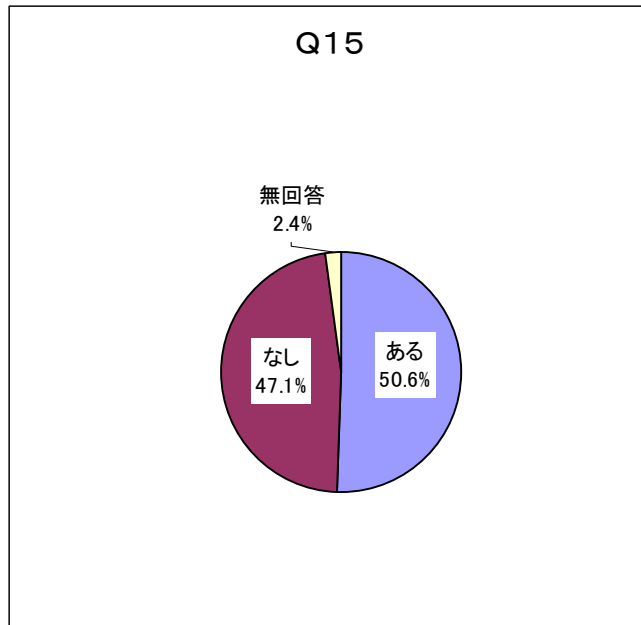
(3) 本人の就職状況等

Q15. ご本人は今までに就職の経験はありますか？

「ある」50.6%、「なし」47.1%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
ある	43	50.6
なし	40	47.1
無回答	2	2.4
計	85	



※ 「Q16」～「Q17」は、「Q15」で、就職経験が「ある」と回答した者を対象としている。

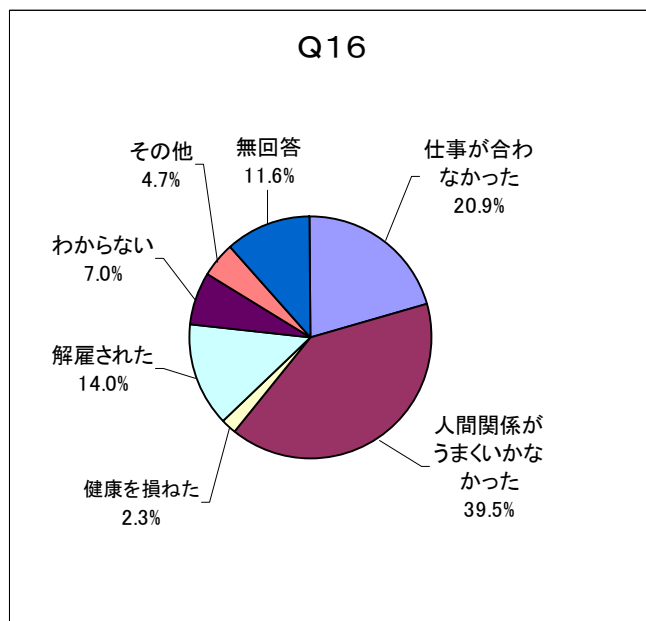
Q16. ご本人が仕事を辞めた理由は何ですか？最も近いものを一つ選択してください。

「人間関係がうまくいかなかった」39.5%と最も多く、次いで「仕事が合わなかった」20.9%、「解雇された」14.0%であった。

なお、「わからない」とした回答が7.0%あった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
仕事が合わなかった	9	20.9
人間関係がうまくいかなかった	17	39.5
健康を損ねた	1	2.3
解雇された	6	14.0
わからない	3	7.0
その他	2	4.7
無回答	5	11.6
計	43	



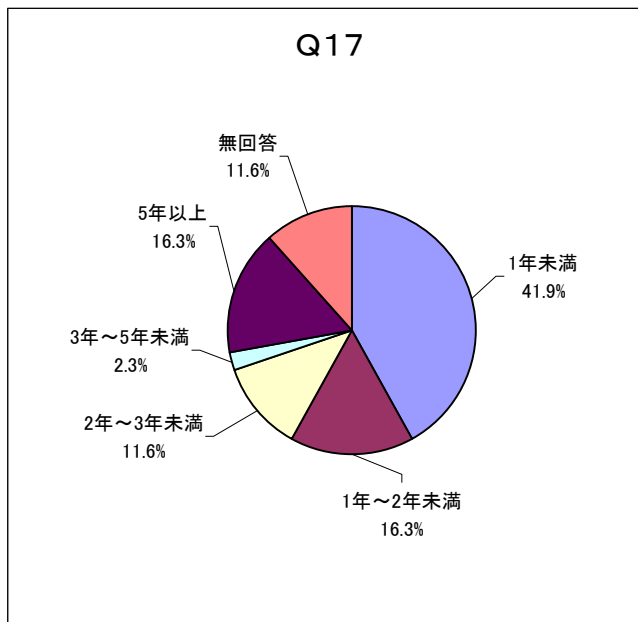
Q17. ご本人が最後の仕事を辞めてから、どれくらいの期間が経ちましたか？

「1年未満」41.9%、「1年～2年未満」16.3%、「2年～3年未満」11.6%、「3年～5年未満」2.3%、「5年以上」16.3%であった。
「本人」による回答と同様、「1年未満」の割合が高かった。

(P9,「Q15」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
1年未満	18	41.9
1年～2年未満	7	16.3
2年～3年未満	5	11.6
3年～5年未満	1	2.3
5年以上	7	16.3
無回答	5	11.6
計	43	



Q18. ご本人は、就職を希望していますか？

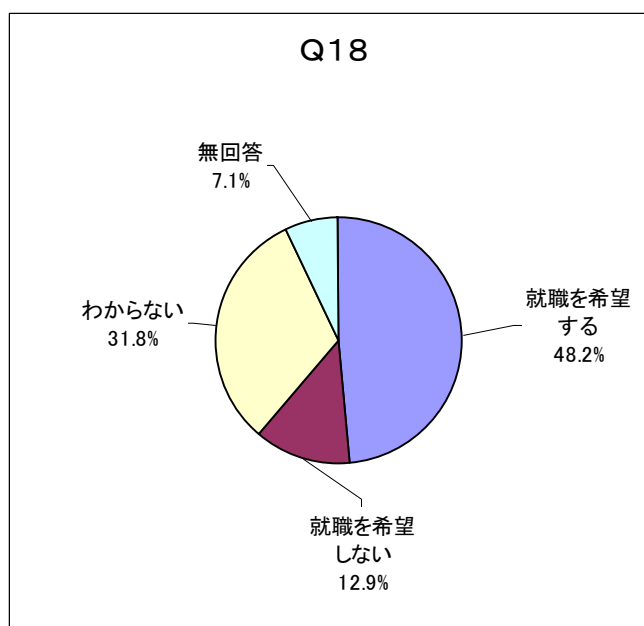
「就職を希望する」48.2%、「就職を希望しない」12.9%、「わからない」31.8%であった。

「わからない」とした回答を除くと、「本人」による回答と同様、就職を希望する割合が高かった。

(P10,「Q18」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
就職を希望する	41	48.2
就職を希望しない	11	12.9
わからない	27	31.8
無回答	6	7.1
計	85	



Q 19. ご本人は、就職活動（就職支援セミナーの受講等を含む）をしていますか？

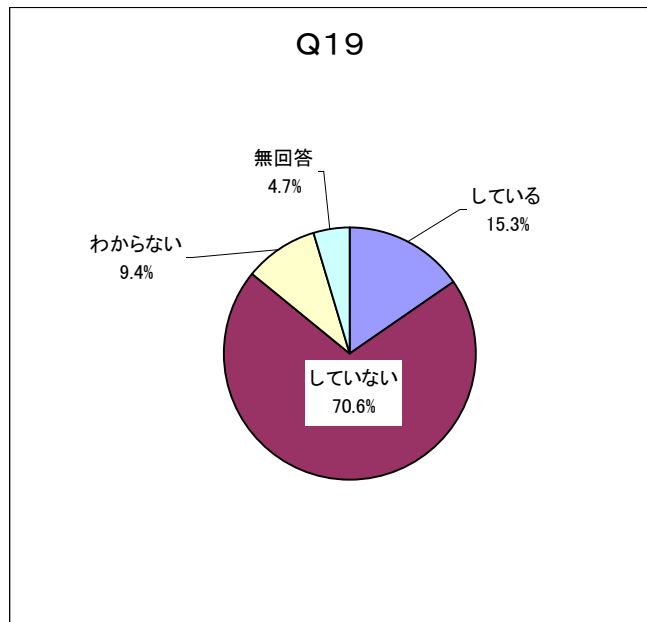
就職活動について、「している」15.3%、「していない」70.6%、「わからない」9.4%であった。

「わからない」とした回答を除くと、「本人による回答」とほぼ同様の割合であった。

(P10,「Q17」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
している	13	15.3
していない	60	70.6
わからない	8	9.4
無回答	4	4.7
計	85	



(4) 相談状況

Q 20. あなた（保護者等）は、ご本人から就職や生活状況などについて相談を受けていますか？

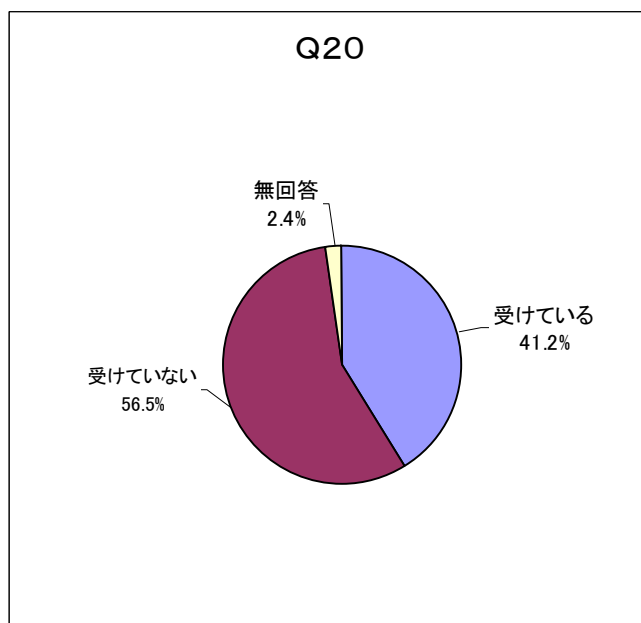
「受けている」41.2%、「受けていない」56.5%であった。

「本人による回答」とは逆の割合となった。

(P13,「Q23」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
受けている	35	41.2
受けていない	48	56.5
無回答	2	2.4
計	85	



Q21. ご本人は、就職や生活状況などについてあなた（保護者等）以外に相談できる人がいますか？

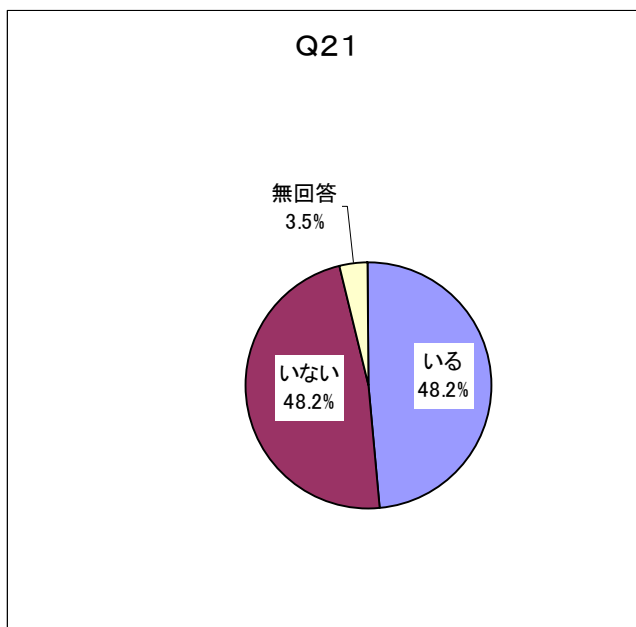
「いる」48.2%、「いない」48.2%であった。

「本人」による回答と比べると、「いない」とする割合が高く、同数の割合であった。

(P13,「Q24」参照)

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
い る	41	48.2
い ない	41	48.2
無 回 答	3	3.5
計	85	



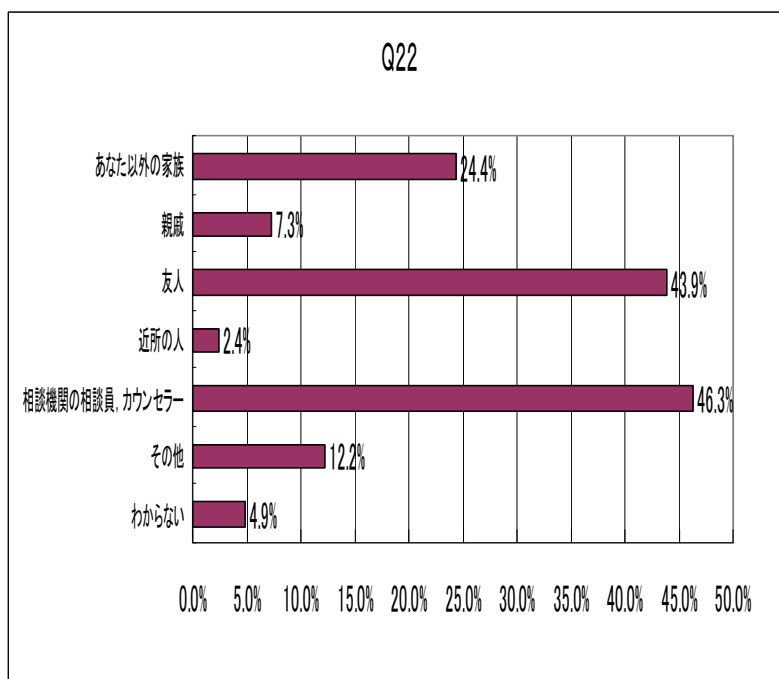
※ 「Q22」は、「Q21」で「いる」と回答した者を対象としている。

Q22. あなた（保護者等）以外に相談している人を、次のうちからすべて選択してください。
(複数回答可)

「相談機関の相談員、カウンセラー」46.3%、「友人」43.9%が上位を占めた。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
あなた以外の家族	10	24.4
親 戚	3	7.3
友 人	18	43.9
近所の人	1	2.4
相談機関の相談員、カウンセラー	19	46.3
その他	5	12.2
わからない	2	4.9
計	58	



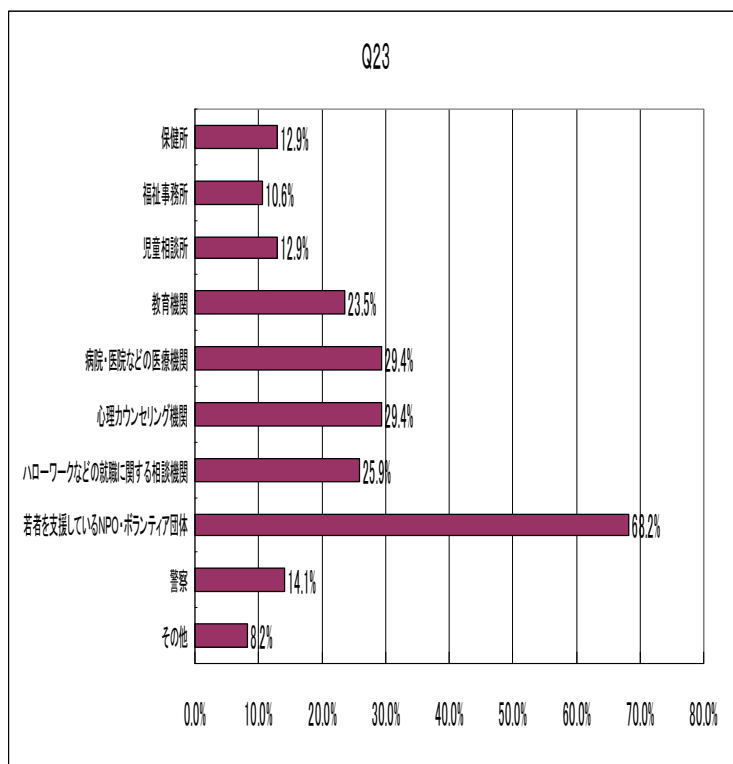
※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

Q23. あなた（保護者等）が相談したことがある機関・団体を，次のうちからすべて選択してください。（複数回答可）

「若者を支援しているNPO・ボランティア団体」68.2%が最も多かった。
「本人」による回答と比べると、「警察」，「保健所」，「児童相談所」への相談の割合も高かった。
 （P14,「Q25」参照）

（単位：人，％）

区分	回答数	割合
保健所	11	12.9
福祉事務所	9	10.6
児童相談所	11	12.9
教育機関	20	23.5
病院・医院などの医療機関	25	29.4
心理カウンセリング機関	25	29.4
ハローワークなどの就職に関する相談機関	22	25.9
若者を支援しているNPO・ボランティア団体	58	68.2
警察	12	14.1
その他	7	8.2
計	200	



※複数回答のため，割合の計は100%にはならない。

(5) 意見・要望等

Q24. ご本人が現在抱えている悩みや就業に関する問題点は何だと思えますか？
(自由記述)

- ・対人関係が築けない。
- ・コミュニケーションがとれない。
- ・就労意欲がない。
- ・何をしたいのか、どんな仕事をしたいのかわからない。
- ・発達障害があり、複雑な仕事は困難であり、仕事に限られてしまう。
- ・教育を受けていないことに対する不安がある。
- ・世間（他人）に対する恐怖心がある。
- ・嫌なことをすぐに避ける。忍耐力がない。

Q25. あなた（保護者等）が現在抱えている悩みがあれば、お聞かせください。
(自由記述)

- ・今後、本人が自立していけるかどうか心配である。
- ・どこに相談して良いかわからない。
- ・民間はカウンセリング料が高すぎて続かない。
- ・本人の本当の気持ちを聞き出せない。
- ・経済的に不安である。（年金生活、高齢等で本人の生活までは見ていくのは不安）
- ・（本人に）相談機関等を勧めるが、動いてくれない。
- ・自立（就職）させるためにどんなことをしたら良いかわからない。
- ・親として、どのような関わり方をすれば良いのかわからない。

Q26. 学校、相談機関（団体）、企業、行政等への意見、要望があれば自由にご記入ください。（自由記述）

- ・社会適応能力が難しい子供達が社会生活に順応できる訓練又は指導援助を望みたい。
- ・国などが補助を出して、多くの働く場、居場所を作ってほしい。
- ・相談できる機関を教えてください。
- ・ネットワークのようなつながりがあると良い。（義務教育が終わったとたん、どこに相談して良いのかわからない状態であった。）
- ・いきなり、フルタイムや毎日勤務は本人にとってつらいので、慣れるまでもそれを受け入れてくれる就職先がほしい。
- ・相談者の自宅等に出向いて来て話を聞いてほしい。
- ・若年層の雇用拡大や若者をもっと受け入れてくれる事業者を増やしてほしい。

3 関係機関・団体の相談担当者を対象とした調査

(1) ニート等の現状

Q1. 若者がニート等になる理由として、どのようなものが多いと感じますか？
いくつか、特徴的なパターンがありますか？（自由記述）

- ・対人・親子間のコミュニケーションが不足している。
- ・将来への目的意識（職業観）の希薄や職業訓練等を受けていない。
- ・自尊心（プライド）は高いが傷つきやすい。
- ・不登校やいじめ、職場でのトラブル等で、自信を失い挫折感を持ち希望を失ってしまう。
- ・現在の厳しい社会経済状況の下、就労の不安定化、家庭内依存が長期継続し、社会から疎遠となり、社会へ無関心になっている。
- ・家庭の経済力が上がり、無理に就職しなくも良いという気風が強まっている。

Q2. ニート等の日常は、どのような過ごし方が多いと感じますか？（自由記述）

- ・対人関係を要しないパソコン、テレビ、ゲームなどを行っている。
- ・昼夜逆転し、生活リズムが壊れている。
- ・家に閉じこもり、自分の好きなことだけしている。
- ・自室にひきこもり、時には家人への暴力行為等がある。
- ・人生に目的がなく、ただ何となく過ごしている。
- ・人の意見は聞き入れず、自分の思うように行動し、家族との協調性がない。

(2) 保護者等の現状

Q3. ニート等への接し方や関わり方など、保護者等の対応について、どのように感じていますか？（自由記述）

- ・世間体を気にして、親の考えを押しつけ、本人の話（考え）を聞こうとしない。
- ・長期化するにつれ、腫れものに触るような感じである。
- ・初期段階で、本人の内面の苦しさに共感できず、一般論で話をしてしまい、結果、本人から心を開いてもらい難くなる。
- ・当たり障りない話しかできず、本音で語りあえない。
- ・不登校の相談は母親が多く、家庭での子どもの対応に父親の関わりが見られない場合がある。
- ・過保護、過干渉の母親、放任の父親が多い。
- ・接し方や関わり方がわからず、一人で悩んでいる人が多い。
- ・子どもに対し、（愛情を持って）厳しく叱ったり、指導することがなくなっている。
- ・保護者本人が問題を抱えこまず、関係機関や地域の方、友人等に相談することが大事である。

Q 4. 保護者等の悩みとして多い、または深刻だと感じられることはどんなことですか？（自由記述）

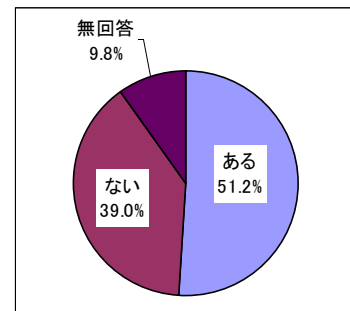
- ・本人との関わり方等で、保護者自身も精神的な負担を背負っている。
- ・周囲の偏見もあり、世間体を気にしすぎて、実態を隠そうとする。
- ・相談したいが、どこに、どのように相談したら良いのかわからない。
- ・他の兄弟への影響を心配している。
- ・本人だけでなく、親も含めて、自殺を考えるケースがある。
- ・自立できるか、就職、結婚等できるかなど本人の将来が不安である。
- ・親も高齢化して、子どもが自立していけるか心配している。
- ・子どもと話ができない、子どもが何を考えているかわからないのが不安である。

（3）相談機関との連携

Q 5. ニート等の支援・相談のために、他の相談機関と連携をとったことがありますか？

（単位：人，％）
 「ある」51.2％、「ない」39.0％であった。

区分	回答数	割合
ある	21	51.2
ない	16	39.0
無回答	4	9.8
計	41	



○ 連携をとった相談機関として、回答があったもの

「地域若者サポートステーション」、「若者自立塾」、
 「フリースクール」、「ヤングハローワーク」、「医療機関」、「病院」、
 「精神保健福祉センター」、「児童総合相談センター」、「総合教育センター」、
 「学校」、「警察」、「社会福祉協議会」、「民生委員」など

（4）各機関・団体の独自の支援策

Q 6. 貴機関・団体において、ニート等に対する独自の支援策についてご記入ください。（自由記述）

- ・ボランティア（清掃・農業作業等）活動，自主活動（趣味を活かした活動），労働体験，地域行事への参加による交流活動等を実施している。
- ・家族を対象とした個別相談やグループワークでの相互の支え合いを行っている。
- ・民生委員による声かけ・見守りを行っている。
- ・教職員の不登校の対応に係る資質向上を図るための研修講座を実施している。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを設置している。
- ・関係機関・団体との連携を取っている。

Q7. ニート等に対する支援策として、何が効果的だと思いますか？（自由記述）

- ・体力を回復させながら、自信喪失した部分を補う実体験の活動を支援する。
- ・少人数でのグループワークで、支援者による体験活動の機会を提供する。（SSTで対人能力を高める等）
- ・自立支援センターを充実させる。（数、質ともに）
- ・自立できるための支援システム体制をつくる。
- ・学校・家庭・地域・企業等が連携した計画的、継続的な体験活動等を実施する。
- ・企業など採用する側に対してニート等の現状の周知及び協力要請を行う。
- ・「ニート」＝「働く意欲のない人」ではなく、不況などによる雇用問題により発生した問題でもあることの啓発を行う。
- ・段階的な就労の場の提供を行う。
- ・幼児期・学童期から、親・学校・地域、そして、行政も含めての自己解決力を高める子育てが必要である。
- ・単なる職業訓練ではなく、実務経験に算入できるような研修等があれば良い。
- ・関係機関・団体と連携をとる。
- ・保護者に対する相談会（教育）の機会を増やすなど、保護者への支援を行う。

（5）意見・要望等

Q8. 親、学校、企業、行政等への意見・要望、支援上の悩み、具体的な施策の提案などがあれば自由にご記入ください。（自由記述）

- ・親や本人への資金援助が必要である。
- ・相談中心のサポートから実活動中心のサポートへの転換が必要である。
- ・民間施設との協力関係の構築が必要である。（連携では不十分）
- ・グループワーク等支援機関の活動に参加する際の参加費の助成が必要である。
- ・国・県・市町村がそれぞれの役割を果たすとともに、早期の対策づくりを推進するとともに、情報を共有化して対応する必要がある。
- ・関係機関・団体の取組の状況やサービスなどの情報、さらには課題解決に向けた関係機関・団体の連携等による取組などが必要である。
- ・各学校へのスクールカウンセラー配置の拡充を図る必要がある。
- ・常時相談可能な施設（体制）を整備し、周知する必要がある。
- ・行政での相談窓口を一本化するなど専門家による相談体制を整える必要がある。（ニート等を抱える親は多いと思うが、ほとんど相談がない状態である。）
- ・勉強だけでなく、部活動や様々な体験活動に参加させ、コミュニケーション能力を養うことが必要である。
- ・保護者に対する相談会（教育）など、保護者への支援を行う必要がある。
- ・本人・保護者がどこに相談に行けば良いのか、絶えず広報していく必要がある。
- ・相談に来た人に、具体的な次の手段を提供できるようなワンストップサービス（親の会、カウンセリング、職場・居場所紹介等）が必要である。

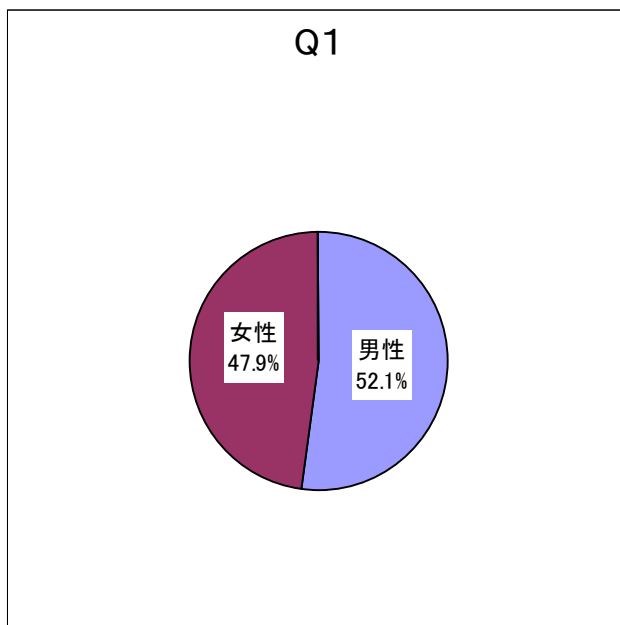
4 「フリーター」状態にある若者の聞き取り調査

Q1. あなたの性別は？

「男性」52.1%、「女性」47.9%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
男性	38	52.1
女性	35	47.9
計	73	

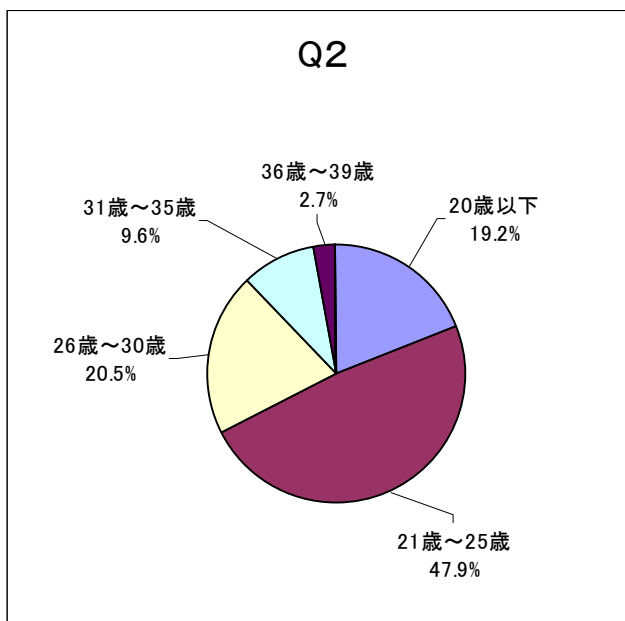


Q2. あなたは何歳ですか？

「20歳以下」19.2%、「21歳～25歳」47.9%、「26歳～30歳」20.5%、「31歳～35歳」9.6%、「36歳～39歳」2.7%であり、「21歳～25歳」の割合が最も高かった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
20歳以下	14	19.2
21歳～25歳	35	47.9
26歳～30歳	15	20.5
31歳～35歳	7	9.6
36歳～39歳	2	2.7
計	73	

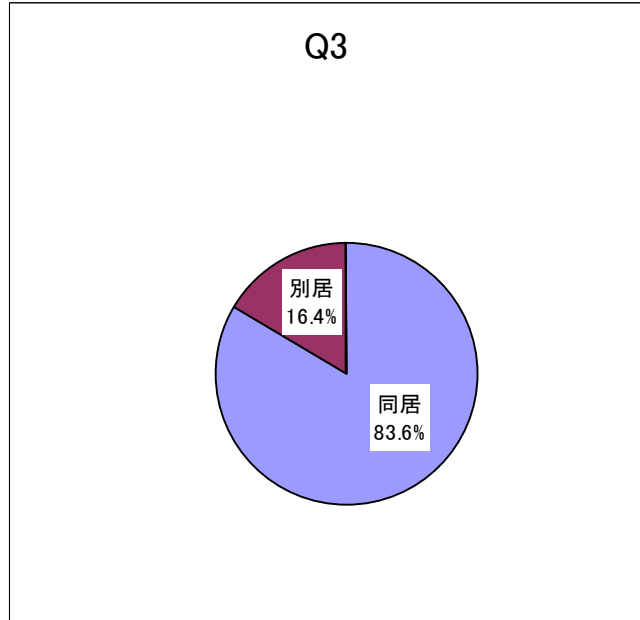


Q3. 親と同居していますか？

「同居」83.6%、「別居」16.4%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
同 居	61	83.6
別 居	12	16.4
計	73	

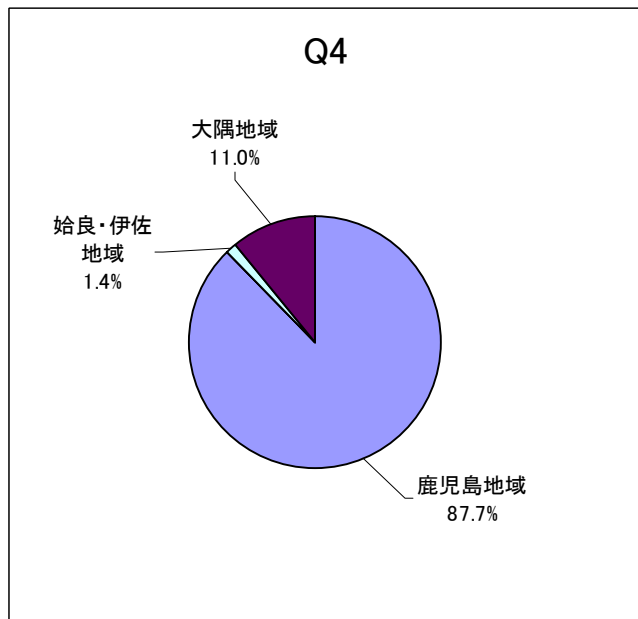


Q4. あなたの住んでいるところはどこですか？

「鹿児島地域」87.7%、「始良・伊佐地域」1.4%、「大隅地域」11.0%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
鹿児島地域 ^{注1}	64	87.7
南薩地域 ^{注2}	0	0.0
北薩地域 ^{注3}	0	0.0
始良・伊佐地域 ^{注4}	1	1.4
大隅地域 ^{注5}	8	11.0
熊毛地域 ^{注6}	0	0.0
大島地域 ^{注7}	0	0.0
県外	0	0.0
計	73	



(注1) 鹿児島市,日置市,いちき串木野市,三島村,十島村

(注2) 枕崎市,指宿市,南さつま市,南九州市

(注3) 阿久根市,出水市,薩摩川内市,さつま町,長島町

(注4) 霧島市,伊佐市,加治木町,始良町,蒲生町,湧水町

(注5) 鹿屋市,垂水市,曾於市,志布志市,大崎町,東串良町,錦江町,南大隅町,肝付町

(注6) 西之表市,中種子町,南種子町,屋久島町

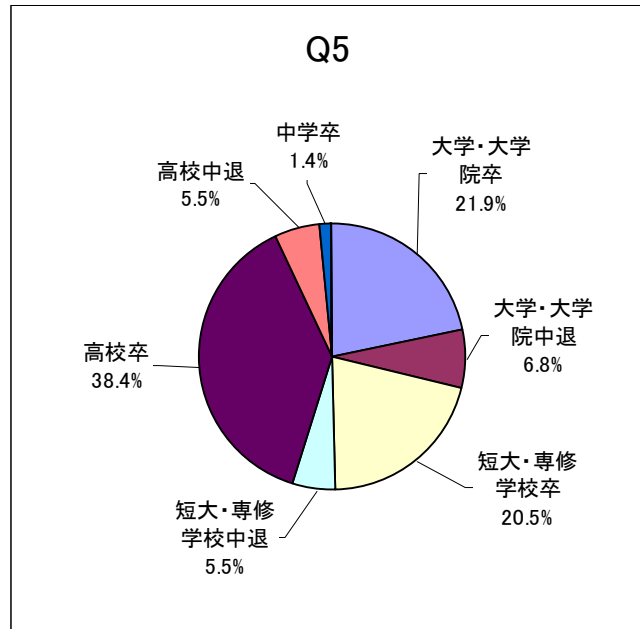
(注7) 奄美市,大和村,宇検村,瀬戸内町,龍郷町,喜界町,徳之島町,天城町,伊仙町,和泊町,知名町,与論町

Q5. あなたの卒業（中退を含む）した学校はどこですか？

「大学・大学院卒」21.9%、「大学・大学院中退」6.8%、「短大・専修学校卒」20.5%、「短大・専修学校中退」5.5%、「高校卒」38.4%、「高校中退」5.5%、「中学卒」1.4%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
大学・大学院卒	16	21.9
大学・大学院中退	5	6.8
短大・専修学校卒	15	20.5
短大・専修学校中退	4	5.5
高校卒	28	38.4
高校中退	4	5.5
中学卒	1	1.4
計	73	

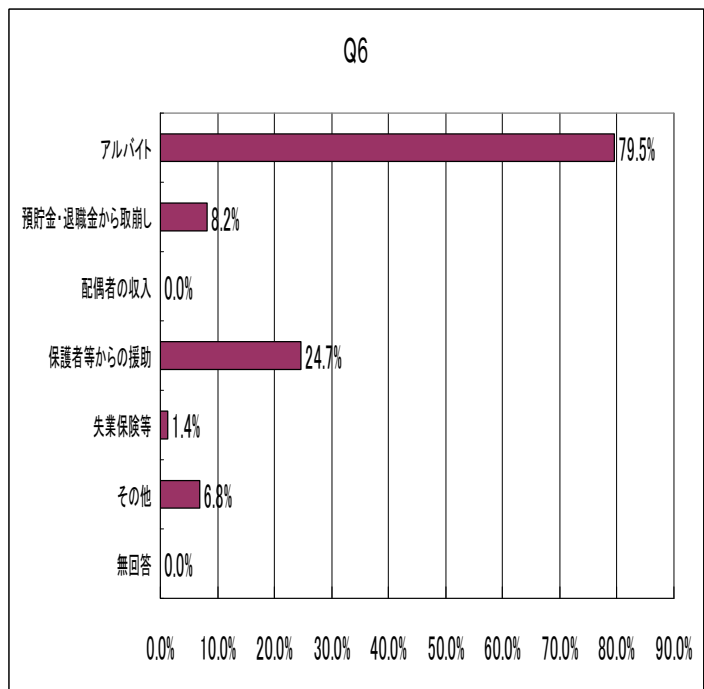


Q6. 現在の生活費について該当するものをすべてお選びください。(複数回答可)

「アルバイト」79.5%が最も高く、次いで「保護者等からの援助」24.7%であった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
アルバイト	58	79.5
預貯金・退職金から取崩し	6	8.2
配偶者の収入	0	0.0
保護者等からの援助	18	24.7
失業保険等	1	1.4
その他	5	6.8
無回答	0	0.0
計	88	



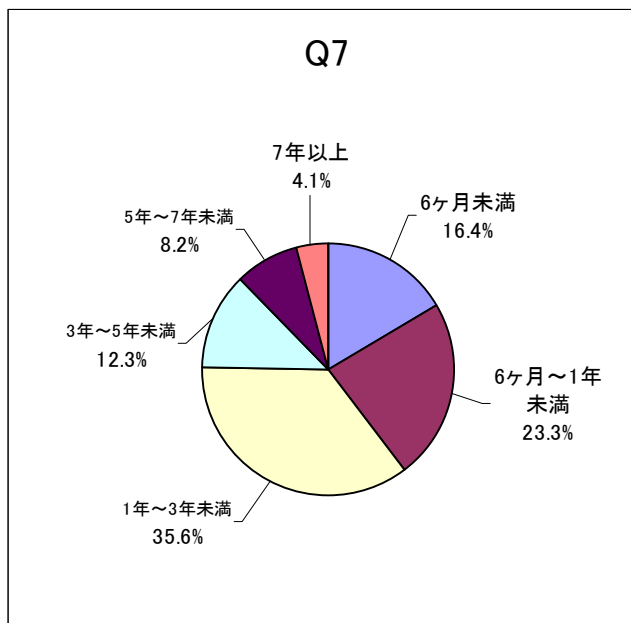
※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

Q7. 「フリーター」として働くようになってどのくらい経ちますか？

「6ヶ月未満」16.4%、「6ヶ月～1年未満」23.3%、「1年～3年未満」35.6%、「3年～5年未満」12.3%、「5年～7年未満」8.2%、「7年以上」4.1%であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
6ヶ月未満	12	16.4
6ヶ月～1年未満	17	23.3
1年～3年未満	26	35.6
3年～5年未満	9	12.3
5年～7年未満	6	8.2
7年以上	3	4.1
計	73	

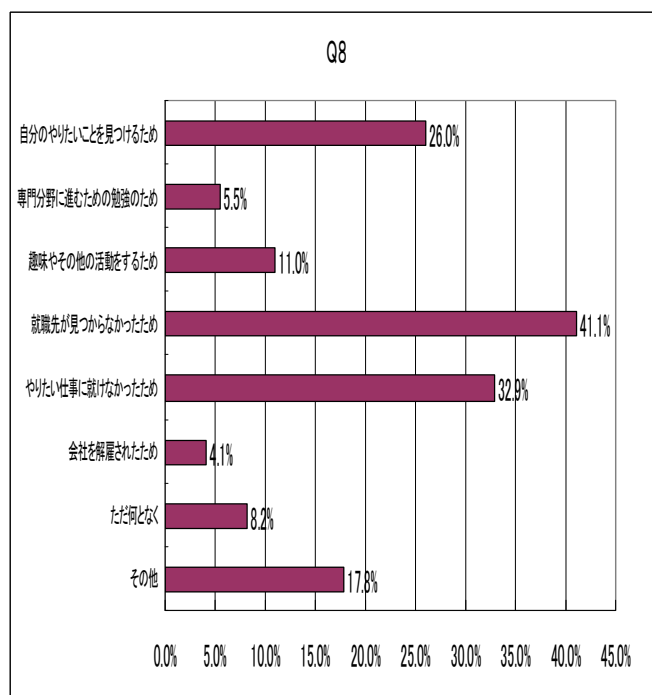


Q8. 「フリーター」になったきっかけとして当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答可)

「就職先が見つからなかったため」41.1%、「やりたい仕事に就けなかったため」32.9%、「自分のやりたいことを見つけるため」26.0%が上位を占めた。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
自分のやりたいことを見つけるため	19	26.0
専門分野に進むための勉強のため	4	5.5
趣味やその他の活動をするため	8	11.0
就職先が見つからなかったため	30	41.1
やりたい仕事に就けなかったため	24	32.9
会社を解雇されたため	3	4.1
ただ何となく	6	8.2
その他	13	17.8
計	107	



※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

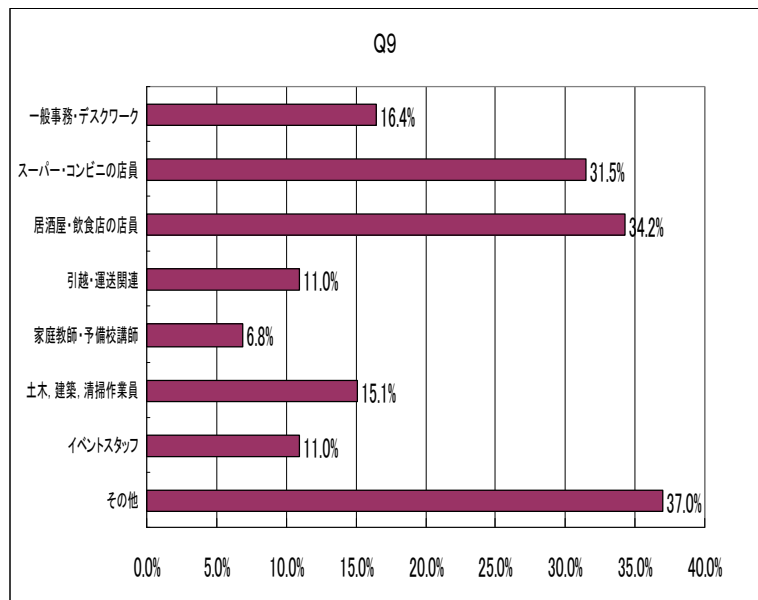
Q9. これまでにどのような仕事をしましたか、当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答可)

「その他」37.0%、「居酒屋・飲食店の店員」34.2%、「スーパー・コンビニの店員」31.5%が上位を占めた。

また、「その他」の内訳としては、接客業、ゴルフキャディ、部品製造、エンジニア等があった。

(単位:人, %)

区分	回答数	割合
一般事務・デスクワーク	12	16.4
スーパー・コンビニの店員	23	31.5
居酒屋・飲食店の店員	25	34.2
引越・運送関連	8	11.0
家庭教師・予備校講師	5	6.8
土木、建築、清掃作業員	11	15.1
イベントスタッフ	8	11.0
その他	27	37.0
計	119	

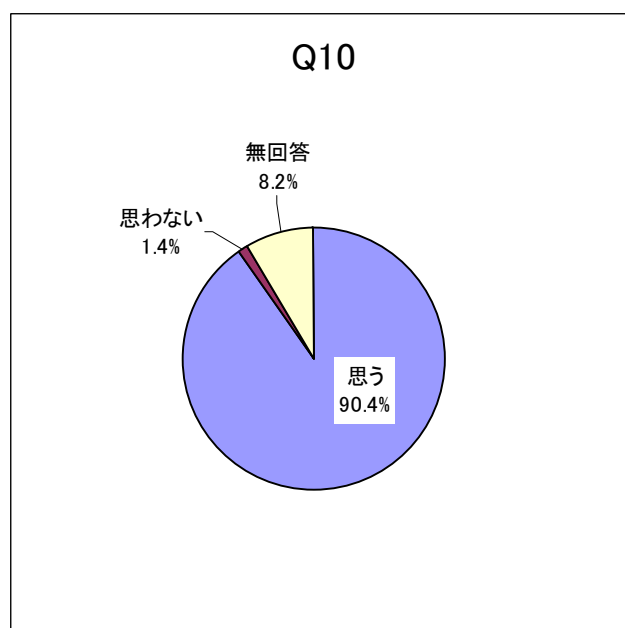


※複数回答のため、割合の計は100%にはならない。

Q10. 将来、「正社員」として働きたいと思いますか？

「思う(今後は「正社員」として働きたい)」90.4%、「思わない(今後も「フリーター」として働きたい)」1.4%で、「正社員」として働きたいと思う者がほとんどであった。

区分	回答数	割合
思う	66	90.4
思わない	1	1.4
無回答	6	8.2
計	73	

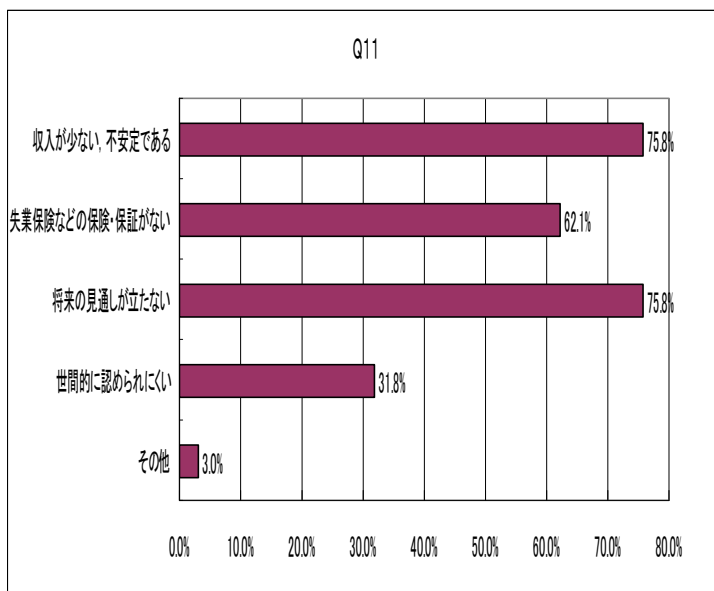


Q11. 「Q10」で「思う（今後は「正社員」として働きたい）」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか、当てはまるものをすべて選択してください。
（複数回答可）

「収入が少ない，不安定である」，「将来の見通しが立たない」75.8%，「失業保険などの保険・保証がない」62.1%の順にその割合が高かった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
収入が少ない, 不安定である	50	75.8
失業保険などの保険・保証がない	41	62.1
将来の見通しが立たない	50	75.8
世間的に認められにくい	21	31.8
その他	2	3.0
計	164	



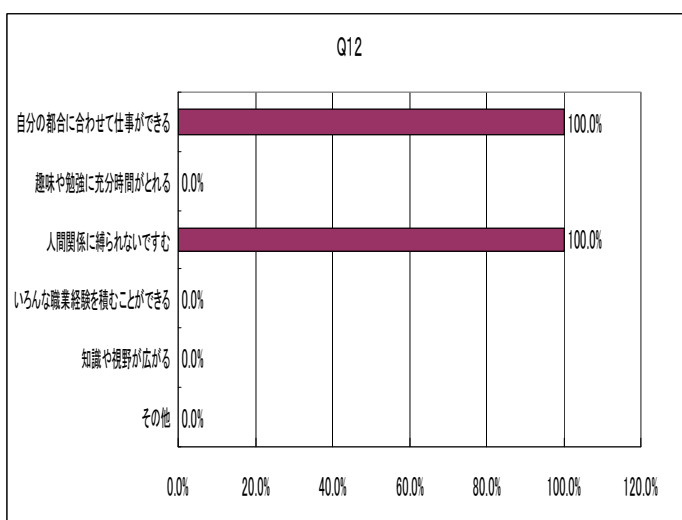
※複数回答のため，割合の計は100%にはならない。

Q12. 「Q10」で「思わない（今後も「フリーター」として働きたい）」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか、当てはまるものをすべて選択してください。（複数回答可）

「思わない（今後も）「フリーター」として働きたい」と答えた者は1人しかおらず，その理由としては，「自分の都合に合わせて仕事ができる」，「人間関係に縛られない」との回答であった。

(単位:人, %)

区 分	回答数	割 合
自分の都合に合わせて仕事ができる	1	100.0
趣味や勉強に充分時間がとれる	0	0.0
人間関係に縛られないですむ	1	100.0
いろんな職業経験を積むことができる	0	0.0
知識や視野が広がる	0	0.0
その他	0	0.0
計	2	



※複数回答のため，割合の計は100%にはならない。

Q13. 「現在抱えている悩み」があれば、お聞かせください。(自由記述)

- ・ 正社員として働きたいが、どの職業が向いているのわからず、踏み切れない。
- ・ 正社員として働いたことがないので、自信が持てない。
- ・ 求人に応募しているが、資格や経験、学力等を問われ、なかなか採用されない。
- ・ 仕事が長続きしない。
- ・ 収入が少なく生活が苦しい。
- ・ 正社員の採用がなく、仕方なくアルバイトで生計を立てているが、低収入、無保険等のため、生活的に不安定である。

Q14. 親、学校、相談機関(団体)、企業、行政等への意見、要望があれば自由にご記入ください。(自由記述)

- ・ もっと働く場所が増えるような活性化のある地域づくりをしてほしい。
- ・ 低収入、生活弱者への保護・援助等を広げてほしい。
- ・ 失業者のための何らかの相談等があれば良い。
- ・ 求人(仕事)が少ないので、もっと企業の募集があれば良い。

Ⅲ まとめ

今回の調査で把握できた現状・課題等について、主なものは次のとおりである。

(現状等)

- ① ニートやひきこもりにいたる要因としては、「人間関係の不信」、「不登校」などとする回答が多かった。(P6・Q10, P21・Q11)
- ② 「就職したい」とする回答が多く、また、就職を考えたときに不安になることとしては、「人間関係がうまく築けない」、「どんな仕事に向いているかわからない」などとする回答が多かった。(P10・Q18, P11・Q20)
- ③ 対人・親子間のコミュニケーションが不足している。(P29・Q1)
- ④ 昼夜逆転の生活であったり、対人関係を要しないパソコン、テレビ、ゲーム等をして過ごしている。(P29・Q2)
- ⑤ フリーターになったきっかけとしては、「就職先が見つからなかったため」、「やりたい仕事に就けなかったため」とする回答が多く、また、ほとんどが「正社員」として働きたいとの回答であった。(P35・Q8, P36・Q10)

(今後の課題)

- ① 本人や保護者等が何でも相談できる窓口・体制の整備
- ② 雇用、福祉等の関係機関・団体が一体となった支援体制の整備
- ③ 居場所づくりや職業訓練・体験活動といった本人への支援
- ④ 保護者の意識改革や情報交換の場の提供といった保護者への支援
- ⑤ 雇用環境の充実

(今後の取組)

今後、今回の調査結果も参考にしながら、個々の若者の多様なニーズに応じた若者自立支援策を総合的に展開し、関係機関・団体とも連携を密にしながら、次代の鹿児島を担う若者が、自信と誇りをもって活躍できる社会づくりを進めることが重要である。

【参考】

○関係機関・団体における相談受理状況

関係機関・団体における調査期間中の相談受理状況についても、併せて調査した。その結果の概要は、次表のとおりである。

(単位：件)

区分	フリーター	ニート	ひきこもり	不登校	計
相談方法					
来所	264	102	48	521	935
電話	4	9	23	656	692
メール	3	5	0	1	9
訪問	1	3	3	5	12
その他	0	0	1	6	7
計	272	119	75	1,189	1,655
相談者					
本人	266	77	15	260	618
父親	0	9	14	86	109
母親	4	22	36	746	808
兄弟・姉妹	0	1	2	2	5
祖父母	0	0	0	22	22
おじ・おば	0	0	0	4	4
その他	2	3	4	68	77
無回答	0	7	4	1	12
計	272	119	75	1,189	1,655
性別					
男性	115	77	58	559	809
女性	156	38	14	619	827
無回答	1	4	3	11	19
計	272	119	75	1,189	1,655
年齢					
12歳以下	0	0	0	260	260
13歳～15歳	2	1	0	803	806
16歳～18歳	25	33	10	108	176
19歳～20歳	44	16	8	5	73
21歳～25歳	100	28	12	2	142
26歳～30歳	50	28	16	0	94
31歳～35歳	36	3	16	0	55
36歳～39歳	14	4	6	0	24
無回答	1	6	7	11	25
計	272	119	75	1,189	1,655
住所					
鹿児島地域	203	24	41	50	318
南薩地域	3	11	4	4	22
北薩地域	2	4	5	12	23
姶良・伊佐地域	17	4	2	3	26
大隅地域	11	2	0	16	29
熊毛地域	0	1	0	2	3
大島地域	33	68	18	9	128
県外	0	0	0	1	1
無回答	3	5	5	1,092	1,105
計	272	119	75	1,189	1,655

(注1)「性別」、「年齢」、「住所」については、相談者ではなく、本人による区分である。

(注2)件数は、実件数ではなく、延べ件数である。

○調査に協力いただいた関係機関・団体一覧

今回の調査に協力いただいた関係機関・団体は、次のとおりである。

関係機関・団体名等	所在地	主な相談分野
NPO法人かごしま青少年自立センター「静活館」	指宿市	ニート, ひきこもり
NPO法人奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」	奄美市	ニート, ひきこもり, 不登校
NPO法人麻姑の手村	鹿児島市	ひきこもり, 不登校
NPO法人フリースクールIHセンター	鹿児島市	不登校
全国引きこもりKHJ親の会鹿児島県「楠の会」	南九州市	ひきこもり
鹿児島県メンタルサポート研究所	鹿児島市	ひきこもり, 不登校, ニート
県若者就職サポートセンター(キャッチワークかごしま)	鹿児島市	フリーター, ニート
県若者就職サポートセンター(鹿屋サテライト)	鹿屋市	フリーター, ニート
鹿児島市教育委員会青少年課	鹿児島市	不登校
県精神保健福祉センター	鹿児島市	ひきこもり, 不登校
県児童総合相談センター	鹿児島市	不登校, ひきこもり
県総合教育センター	鹿児島市	不登校
各保健所(14)	鹿児島市 指宿市 南さつま市 日置市 薩摩川内市 出水市 伊佐市 霧島市 志布志市 鹿屋市 西之表市 屋久島町 奄美市 徳之島町	ひきこもり等
各市町村(教育委員会, 福祉事務所等)(45)	—	不登校, ひきこもり等
計(71機関・団体)		

※相談者等の住所についての設問(P3・Q4, P18・Q5, P33・Q4, P39・住所)については、この表の関係機関・団体に調査を依頼したことから、関係機関・団体の所在地に留意する必要がある。

※関係機関・団体における相談受理状況(P39)については、この表の関係機関・団体に調査を依頼したことから、関係機関・団体の主な相談分野に留意する必要がある。

【資料（各調査票）】

アンケート調査票（本人用）

アンケート調査票（保護者等用）

若者自立支援に関する関係機関・団体状況調査票

「フリーター」状態にある若者の聴き取り調査票

アンケートにご協力を！（お願い）

近年の若者を取り巻く状況は、少子高齢化、核家族化、雇用形態の多様化などにより、自立して社会参加することが難しい状況が続いています。

この調査は、若者の自立を支援するための総合的施策を検討するための参考資料として実施するものです。

この調査の結果や内容は統計的に処理しますので、個々の回答結果をそのまま発表することや調査目的以外に使用することはありません。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※ ご記入に当たってのお願い

1. 平成21年度の記入時点でお答えください。
2. 回答は当てはまる番号を○で囲んでください。また、設問によっては数字をご記入いただいたり、具体的な内容を文章でご記入いただくところもあります。
3. ご記入済みのアンケート用紙は、調査をお願いされた関係機関・団体の担当者の方にお渡しください。
4. この調査でご不明の点がございましたら、電話等で下記にお問い合わせください。

鹿児島県県民生活局青少年男女共同参画課

若者自立支援対策班 奥，塚元

電 話 099-286-2556

F A X 099-286-5541

E-mail s-wakamono@pref.kagoshima.lg.jp

※...この調査は、1.5歳から3.9歳までの、職に就いていない方（学生を除く）を対象に実施しています...

以下の質問にお答えください

【基本的な項目】

Q1. あなたの性別は？ 男 ・ 女

Q2. あなたは何歳ですか？ （ ）歳

Q3. 親と同居していますか？ はい ・ いいえ

Q4. あなたの住んでいるところはどこですか？ （ ）市・町・村

Q5. あなたの卒業（中退を含む）した学校はどこですか？

1. 大学・大学院卒
2. 大学・大学院中退
3. 短大・専修学校卒
4. 短大・専修学校中退
5. 高校卒
6. 高校中退
7. 中学卒

Q6. あなたの生活費はどうしていますか？

1. 親から定額の手当をもらっている
2. 必要に応じて親からもらっている
3. これまでの貯金から用立てている
4. その他（具体的に

【これまでの仕事・就職活動等の状況】

Q14. 就職活動の経緯について、以下の中から、最も近いものを1つ選択してください。

1. 就職したが、自分の都合で離職した
2. 就職したが、解雇された
3. 就職活動をしたが、就職できなかった
4. 就職活動をしたことがない

Q15. 最後の仕事から、どれくらいの期間が経ちましたか？

1. 1年未満
2. 1年以上～2年未満
3. 2年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満
5. 5年以上
6. 働いたことはない

Q16. 就職していないことについて、理由として当てはまるものをすべて選択してください。

1. どのような仕事をしたいかわからない
2. 採用してくれる会社がない
3. 健康上の理由で勤まらない
4. 働いていく能力的な自信がない
5. 希望する仕事や会社が見つからない
6. 親が養ってくれる
7. 生活保護を受けている
8. 働きたくない
9. 何となく
10. その他（具体的に

Q17. あなたは、就職活動（就職支援セミナーの受講等を含む）をしていますか？

はい・いいえ

【職業・就職に関する考え方】

Q18. あなたは、就職をしたいですか？ はい・いいえ

Q19. 「職業」についての自分の考え方で当てはまるものをすべて選択してください。

1. 働くことは価値がある
2. 専門的・高度な仕事をしたい
3. 責任のある仕事をしたい
4. 自由時間を減らしても収入を増やしたい
5. やりがいのある仕事なら収入が少なくてもよい
6. 仕事よりも自分の生活を大事にしたい
7. お金が必要な時だけ、働けばよい
8. 働かなくて済むのなら、それにこしたことはない
9. 働く理由が見当たらない
10. その他（具体的に

Q20. 「就職」を考えた時不安になることで、当てはまるものをすべて選択してください。

1. 人間関係がうまく築けない
2. 心身の健康に自信がない
3. どんな仕事に向いているかわからない
4. 資格がない
5. 仕事に必要な技術（パソコン操作等）に自信がない
6. 履歴書の空白部分の説明ができない
7. その他（具体的に

Q21. 「就職」について最も当てはまるものを1つ選択してください。

1. すぐにでも働きたい
2. もう少し時間を置いてから（1年から2年ほど経ってから）働きたい
3. 働けと言われれば、仕方なく働く
4. 働かなければいけないとは思っているが、働きたくない
5. 働こうとは思わない
6. その他（具体的に _____)

Q22. 上記で「1. すぐにでも働きたい」, 「2. もう少し時間を置いてから働きたい」とお答えの方のみ, あなたが望む労働形態について1つ選択してください。

1. 正社員
2. パート
3. アルバイト
4. 派遣・契約社員
5. いずれでも良い

【相談状況】

Q23. あなたは, 就職や生活状況などについて親に相談していますか?

はい・いいえ

Q24. あなたは, 就職や生活状況などについて親以外に相談できる人がいますか?

はい・いいえ

Q25. 相談したことがある機関・団体を, 次のうちからすべて選択してください。

1. 保健所
2. 福祉事務所
3. 児童相談所
4. 教育機関窓口
5. 病院・医院などの医療機関
6. 心理カウンセリング機関
7. ハローワークなどの就職に関する相談機関
8. 若者を支援しているNPO・ボランティア団体
9. 警察
10. その他（具体的に _____)

【意見・要望等】

Q26. 「現在抱えている悩み」があれば, お聞かせください。

[_____]

Q27. 親, 学校, 相談機関（団体）, 企業, 行政等への意見, 要望があれば自由にご記入ください。

[_____]

ご協力ありがとうございました。

Q5. あなた（保護者等）の住んでいるところはどこですか？

（ ）市・町・村

Q6. ご本人の卒業（中退を含む）した学校はどこですか？

1. 大学・大学院卒
2. 大学・大学院中退
3. 短大・専修学校卒
4. 短大・専修学校中退
5. 高校卒
6. 高校中退
7. 中学卒

Q7. ご本人の生活費はどうしていますか？

1. 定額の手当をあげている
2. 必要に応じてあげている
3. 本人のこれまでの貯金から用立てている
4. その他（具体的に ）

【ご本人の生活状況・経緯等】

Q8. ご本人の普段の過ごし方として最も近い状況のものを1つ選択してください。

1. よく外出し、（準備も含め）就職活動もしている
2. たまに外出し、友人との交流もある
3. 自分の用事（コンビニや本屋など）の時だけ外出する
4. 家からは出ないが人が訪ねて来れば会って話をする
5. 人がいると自室からほとんど出ない

（「1」～「2」とお答えの方は「Q12」以降にお進みください。「3」～「5」とお答えの方は、次の「Q9」以降にお答えください。）

Q9. 「現在の状況」になったのは、ご本人が何歳の頃ですか？（ ）歳

Q10. ご本人が「現在の状況」になってどのくらいの期間が経ちますか？

1. 6ヶ月未満
2. 6ヶ月以上～1年未満
3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満
5. 5年以上～7年未満
6. 7年以上（具体的に ）年

Q11. ご本人が「現在の状況」になるまでにどんな出来事があったか、当てはまるものをすべて選択してください。

1. 人間関係（他人）の不信
2. 家族・家庭への不信・不満
3. 家庭内暴力
4. いじめ・嫌がらせ
5. 不登校
6. 受験・学業への不適應
7. 職場への不適應
8. 就職活動の不調
9. 身体的な病気やけが
10. 特に思い当たらない
11. その他（具体的に ）

Q12. ご本人との接し方について当てはまるものを1つ選択してください。

1. 一般的な会話がある
2. あいさつ程度の会話はある
3. 会話はなくても同じ場所にいられる
4. 返事はなくても声かけはする
5. 声をかけることも迷いがある

Q13. ご本人に最もやってもらいたいと思うことを1つ選択してください。

1. 友達を作ってもらいたい
2. 遊ばせたい
3. 自分の趣味を広げさせたい
4. 勉強させたい
5. 技術や技能を身に付けさせたい
6. 働かせたい
7. 信頼できる相談者やパートナーを見つけさせたい
8. 自宅以外の居場所を作って欲しい
9. その他（具体的に _____)

Q14. 「最もやらせたい」ことを実現していくためには、どんな助け（支援）があればいいと思いますか？

(_____)

【ご本人の就職状況等】

Q15. ご本人は今までに就職の経験はありますか？ はい・いいえ

（「はい」とお答えの方は次の「Q16」以降をお答えください。「いいえ」とお答えの方は「Q18」以降にお進みください。）

Q16. ご本人が仕事を辞めた理由は何ですか？最も近いものを1つ選択してください。

1. 仕事が合わなかった
2. 人間関係がうまくいかなかった
3. 健康を損ねた
4. 解雇された
5. わからない
6. その他（具体的に _____)

Q17. ご本人が最後の仕事を辞めてから、どれくらいの期間が経ちましたか？

1. 1年未満
2. 1年以上～2年未満
3. 2年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満
5. 5年以上

Q18. ご本人は、就職を希望していますか？ はい・いいえ・わからない

Q19. ご本人は、就職活動（就職支援セミナーの受講等を含む）をしていますか？
はい・いいえ・わからない

【相談状況】

Q20. あなた（保護者等）は、ご本人から就職や生活状況などについて相談を受けていますか？ はい・いいえ

Q21. ご本人は、就職や生活状況などについてあなた（保護者等）以外に相談できる人がいますか？ はい・いいえ

（「はい」とお答えの方は次の「Q22」以降をお答えください。「いいえ」とお答えの方は「Q23」以降にお進みください。）

Q22. あなた（保護者等）以外に相談している人を、次のうちからすべて選択してください。

1. あなた以外の家族
2. 親戚
3. 友人
4. 近所の人
5. 相談機関の相談員，カウンセラー
6. その他（具体的に _____）
7. わからない

Q23. あなた（保護者等）が相談したことがある機関・団体を、次のうちからすべて選択してください。

1. 保健所
2. 福祉事務所
3. 児童相談所
4. 教育機関窓口
5. 病院・医院などの医療機関
6. 心理カウンセリング機関
7. ハローワークなどの就職に関する相談機関
8. 若者を支援しているNPO・ボランティア団体
9. 警察
10. その他（具体的に _____）

【意見・要望など】

Q24. ご本人が現在抱えている悩みや就業に関する問題点は何かと思いますか？

[_____]

Q25. あなた（保護者等）が現在抱えている悩みがあれば、お聞かせください。

[_____]

Q26. 学校，相談機関（団体），企業，行政等への意見，要望があれば自由にご記入ください。

[_____]

ご協力ありがとうございました。

若者自立支援に関する 関係機関・団体状況調査票

近年の若者を取り巻く状況は、少子高齢化、核家族化、雇用形態の多様化などにより、自立して社会参加することが難しい状況が続いています。

この調査は、若者の自立を支援するための総合的施策を検討するための参考資料として実施するものです。

この調査の結果や内容は統計的に処理しますので、個々の回答結果をそのまま発表することや調査目的以外に使用することはありません。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※ご記入に当たってのお願い

1. 平成21年度の記入時点でお答えください。
2. 回答は記述式となっておりますので、率直なご意見をできるだけ具体的に記載してください。
3. 平成21年8月20日（木）までにご返送ください。
4. この調査でご不明の点がございましたら、電話等で下記にお問い合わせください。

鹿児島県県民生活局青少年男女共同参画課

若者自立支援対策班 奥，塚元

電話 099-286-2556

FAX 099-286-5541

E-mail s-wakamono@pref.kagoshima.lg.jp

※ この調査は、フリーター、ニート、ひきこもり及び不登校の方（以下「ニート等」という。）やその保護者等と関わる市町村や関係機関・団体の相談担当者の方を対象に実施しています。

以下の質問にお答えください

【ニート等の現状】

Q1. 若者がニート等になる理由として、どのようなものが多いと感じますか？
いくつか、特徴的なパターンがありますか？

[]

Q2. ニート等の日常は、どのような過ごし方が多いと感じますか？

[]

【保護者等の現状】

Q3. ニート等への接し方や関わり方など、保護者等の対応について、どのように感じて
いますか？

[]

Q4. 保護者等の悩みとして多い、または深刻だと感じられることはどんなことですか？

[]

【相談機関との連携】

Q5. ニート等の支援・相談のために、他の相談機関と連携をとったことがありますか？
はい・いいえ
「はい」の方 連携をとった機関名 ()

【貴機関・団体の独自の支援策】

Q6. 貴機関・団体において、ニート等に対する独自の支援策についてご記入ください。

[]

Q7. ニート等に対する支援策として、何が効果的だと思えますか？

[]

【意見・要望など】

Q8. 親、学校、企業、行政等への意見・要望、支援上の悩み、具体的な施策の提案などがあれば自由にご記入ください。

[]

○ 連絡先

機関・団体名

代表者名

(記入者のセクション・氏名)

所在地

(電 話)

(F A X)

連絡先 (E-mail)

ご協力ありがとうございました。

「フリーター」状態にある若者の聴き取り調査

※ この調査は、「フリーター」の状態にある若者を対象に実施しています。

※ なお、この調査では、「フリーター」を、15歳～39歳、卒業者であって、女性にあっては未婚の者とし、さらに、現在就業している者については、勤め先における呼称がアルバイト又はパートである雇用者、現在無業の者については、家事も通学もしておらずアルバイト・パートの仕事を希望する者とします。

Q1 あなたの性別は？ 男・女

Q2 あなたは何歳ですか？（ ）歳

Q3 親と同居していますか？ はい・いいえ

Q4 あなたの住んでいるところはどこですか？（ ）市・町・村

Q5 あなたの卒業（中退を含む）した学校はどこですか？

1. 大学・大学院卒
2. 大学・大学院中退
3. 短大・専修学校卒
4. 短大・専修学校中退
5. 高校卒
6. 高校中退
7. 中学卒

Q6 現在の生活費について該当するものをすべてお選びください。

1. アルバイト
2. 預貯金・退職金から取崩し
3. 配偶者の収入
4. 保護者等からの援助
5. 失業保険等
6. その他（具体的に ）

Q7 「フリーター」として働くようになってどのくらい経ちますか？

1. 6ヶ月未満
2. 6ヶ月以上～1年未満
3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満
5. 5年以上～7年未満
6. 7年以上（具体的に 年）

Q8 「フリーター」になったきっかけとして当てはまるものをすべて選択してください。

1. 自分のやりたいことを見つけるため
2. 専門分野に進むための勉強のため
3. 趣味やその他の活動をするため
4. 就職先が見つからなかったため
5. やりたい仕事に就けなかったため
6. 会社を解雇されたため
7. ただ何となく
8. その他（具体的に ）

Q9 これまでにどのような仕事をしましたか、当てはまるものをすべて選択してください。

1. 一般事務・デスクワーク
2. スーパー・コンビニの店員
3. 居酒屋・飲食店の店員
4. 引越・運送関連
5. 家庭教師・予備校講師
6. 土木、建築、清掃作業員
7. イベントスタッフ
8. その他（具体的に

Q10 将来、「正社員」として働きたいと思いますか？

1. 思う（今後は「正社員」として働きたい）
2. 思わない（今後も「フリーター」として働きたい）

Q11 「Q10」で「1. 思う（今後は「正社員」として働きたい）」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか、当てはまるものをすべて選択してください。

1. 収入が少ない、不安定である
2. 失業保険などの保険・保証がない
3. 将来の見通しが立たない
4. 世間的に認められにくい
5. その他（具体的に

Q12 「Q10」で「2. 思わない（今後も「フリーター」として働きたい）」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか、当てはまるものをすべて選択してください。

1. 自分の都合に合わせて仕事ができる
2. 趣味や勉強に充分時間がとれる
3. 人間関係に縛られないですむ
4. いろんな職業経験を積むことができる
5. 知識や視野が広がる
6. その他（具体的に

Q13 「現在抱えている悩み」があれば、お聞かせください。

[]

Q14 親、学校、相談機関（団体）、企業、行政等への意見、要望があれば自由にご記入ください。

[]

